

会 議 録（委員意見及び事務局回答）

会議の名称	令和4年度 飯塚市環境審議会(第2回)
開催日時	令和5年3月23日(木) 15時～
開催場所	立岩交流センター 2階 第3研修室
出席委員	石橋委員、依田委員、堀委員、佐藤委員、奥迫委員、今津委員、梅野委員、吉柳委員、西谷委員、廣田委員、香月委員、梅澤委員
欠席委員	河邊委員、黒木委員、雨郡委員
事務局職員	福田部長、橋本課長、原係長、近藤、熊本
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>議題(1)第3次飯塚市環境基本計画「令和4年度実施状況」について</p> <p>○質問-回答</p> <p>●質問(1)_P3『公共下水道の整備』 整備完了の84%はどの地域ですか？残りの16%はどこですか？ 完了した時に利用者となる市民は何万人くらいでしょうか。 ⇒【回答】 整備完了地域は、片島、立岩、幸袋、伊岐須などの旧飯塚地区になります。 また、整備未完了地域は、主に目尾、庄司、相田、伊川などの地域となります。事業が完了したときに公共下水道が使用可能となる人口は、60,380人を見込んでいます。</p> <p>●質問(2)_P3『公共下水道の水洗化促進』 河川汚染の最大原因(68%)が未処理の生活雑排水(遠賀川河川事務所HPによる)であることを市民に広く知らせてほしい。 公共下水道に接続できてない最大の要因は高額な工事費だと思う。補助金を上げる(枠を拡げる)、接続すれば水道料金が割安になる等、効果的な施策も検討してほしい。 ⇒【回答】 浄化槽整備区域については、河川汚水の大きな原因が未処理の生活雑排水であることを、チラシの個別配布により、周知に努めているところです。 当該啓発については、必要なことであると認識しておりますので、公共下水道整備区域においても、周知できるよう検討していきます。 また、高額な工事費に対する補助やその他水洗化のきっかけになる制度に</p>

についても、他市の取組状況を調査し、今後検討していきます。

⇒【再質問・意見】

質問(1)・(2)併せての質問と意見になりますが、公共下水道が使用可能となる人口は、60,380人を見込んでいます。これってというのは、飯塚市全体を下水道整備しようとしているのか、地域によっては、個人での浄化槽でそのままいこうと考えておられるのか。

下水道のことで浄化槽の問題と一緒に考えないといけない。浄化槽のところでも質問しておりますが、浄化槽設置でお金が高額という問題もありますが、設置できる立地がない環境の方もいらっしゃいます。そういう方たちには、下水道だったら繋げることが出来ると考えます。しかし、現状では下水道が通っていない(旧4町)ので、将来的に下水道を張り巡らせて苦慮している問題を解決していくのか、どのようなお考えかお聞かせ願いたい。

⇒【回答】

西谷委員のご質問まさにおっしゃるとおりで、今までは、下水道の担当と、浄化槽普及の担当課など、別々の課がやっておりましたが、昨年度から企業局でどちらも担当しております。

現在、下水道の整備エリアを絞り込んで行っていくようにしております。色々課題もあるかと思いますが、企業局内部で話し合いがなされており、水の浄化とういうことを目標にどういった手段が適切か、対応を考えております。今後、悪くなることはないと思います。

⇒【再質問・意見】

現在も、浄化槽も下水道もないこのような状態のままではなく、やはり近代的にしたいという思いがあります。

⇒【回答】

承知の上で検討に入っておりますので、来年すぐにとということにはなりません。そのような状況でございます。

●質問(3)_P4『廃食用油回収事業の推進』

家庭で油を使うところが少なくなっていれば、数量として回収量が減っても仕方がない。廃食用油がどのようにリサイクルされ、有効活用されているのか、市民が知ることにより、もっと協力的になるのではないのでしょうか？塗料等にリサイクルされるということだが、具体的に知りたい。

⇒【回答】

具体的には、植物系の廃食用油をフィルタープレス機で濾過後、ユーザーの規格に合致した調合を行い、ペンキ原料やインキ原料、プレハブハウスの外壁ボード撥水剤といった建築用塗料にリサイクルされています。今後、市報や市ホームページを活用し廃食用油のリサイクルについて周知を図ります。

●質問(4)_P4『廃食用油回収事業の推進』

体積の単位は”ℓ”ではなく”L”です。

⇒【回答】

ご指摘のとおり、修正致します。

●質問(5)_P5『屋外広告物の除却による景観保全』

・前回の令和3年度、4年度の除却目標値(1000枚)と異なっています。どちらが正しいのですか？また異なる理由は何ですか？

・「違法な掲出をしている業者に改善指導した」とありますが、何件ありましたか？指導方法は文書ですか？

・令和3年度は違法屋外広告物掲示者と全然連絡が取れなかったため、指導件数はゼロと報告を受けています(4飯総務第1-87号)が、令和4年度に連絡が取れたのはなぜですか？

・令和3年度の除却枚数は202枚(4飯総務第1-121号)と報告を受けていますが、R3年度実績194枚と記載されています。どちらが正しいのですか？また異なる理由は何ですか？

・「違法屋外広告物は減少傾向にある」とありますが、どんな手段で判断されたのですか？

また違法屋外広告物があると認識されているのに除却しない理由は何ですか？

⇒【回答】

・令和3、4年度の除却目標値は正しくは1000枚です。異なる理由ですが、令和3年度の目標値は誤入力であり、令和4年度の目標値については令和4年度当初に目標値を見直したためです。令和3年度実績値(202枚)に対して、約5倍の目標値(1000枚)はかけ離れていると考え、約2倍の400枚に変更いたしました。

・今年度は3件指導いたしました。指導方法は電話もしくは訪問です。

・違法広告物に電話番号等が掲載されている物件であり、電話がつながったためです。

・正しくは202枚です。194枚は委託した除却業務の除却枚数であり、職員が除却対応を行った8枚を加えた202枚が総除却枚数となります。

・過去5年間の年間除却枚数の推移から判断いたしました。

確認した違法屋外広告物については全て対応しておりますが、限られた人員にて、市内全域の違法屋外広告物全件を把握し対応することは困難なため、見落としもあるかと思われまます。

⇒【再質問・意見】

令和3年度、4年度の除去目標値が「400」「400」になっているが、もとは1,000枚だったのでは？という質問をいたしましたら、それは令和3年度は誤入力で「1,000」が正しいです。令和4年度は見直して「1,000」を「400」にしたと回答を受けました。昨年3月に丁度「1,000」の目標は高すぎるのではないかと質問に対し、回答が「違法屋外広告物を減らしていくために、あえて高い目標値を設定いたしました。」と言われました。ところが、4月になったら急にガクンと「400」になっているので、目標値がこうも簡単に変わっていて、それについての説明もないし、目標値の設定も甘

過ぎます。根拠も整合性もなさ過ぎて、安易に変更するのはどうかと思います。設定後稼働途中に目標値を変えるとかあり得ないので、環境整備課の方から、もっと真剣に目標値の設定をするようにしないと、市民が目標に向かってやれないから、指導徹底してもらいたい。

⇒【回答】

色々ご助言いただきまして、今後、注視しながら目標設定するよう、徹底していきたいと思います。

⇒【質問者からの提案】

都市計画課への提案ですが、限られた人員で違法広告を見つけて対応するのは難しいと言われてありますが、このご時世みんなスマホを持っているので、違法広告を見つけたら写真を撮って、位置情報と一緒に送ってもらえば、簡単に見つけることが出来ると思いますので、投稿サイトなどを活用して景観を維持してもらいたい。

●質問(6)_P4『花いっぱい運動の推進』

- ・市内3カ所とはどこですか？
- ・花いっぱいコンクールとの連携はどうなっていますか。
- ・種子を配布された団体の活動状況は、市民や自治会は知っていますか。

⇒【回答】

- ・穂波イオン前の道路沿いと平恒のトラック協会付近と庄内小学校付近になります。
- ・種子を配布した団体の中から希望する団体が花いっぱいコンクールに参加されています。
- ・HPに花いっぱい推進協議会会員の花壇等の紹介を行っています。

●質問(7)_P5『ボランティア袋の交付』

毎月、清掃活動をしている地域と、そうでない地域の温度差があると思いますが、自治会・まちづくり協議会との周知・連携は図られているのですか。

⇒【回答】

ボランティア清掃ごみ袋の交付につきまして市報や市ホームページにて周知を行っており、個人だけではなく市内各地自治会やまちづくり協議会にて地域清掃が行われております。

●質問(8)_P5『ボランティア袋の交付』

- ・令和4年度実績値は5,738枚となっていますが、成果として「6,082枚」と記述されています。これは令和3年度の実績値ではないですか？
- ・また、4,410人が清掃を行ったとありますが、この数値は令和2年度のボランティア袋配布枚数ではないですか？偶然の一致ですか？
- ・ボランティア清掃を行った人数の把握方法を教えてください。清掃者が重複していないことをどう確認していますか？

⇒【回答】

- ・令和4年度成果(1月末時点)につきまして、以下のとおり修正致します。
「地域環境の保全と美化のため、合計5,738枚のボランティア清掃ごみ袋を申請者へ配布し、4,066人がボランティア清掃を行った結果、清潔で快適な地域環境の維持に寄与した。」
- ・成果欄に記載しておりました数量に関しましては、令和3年度の実績でございました。4,410人という値が令和2年度ボランティア清掃ごみ袋配布枚数と同じであることについては、偶然の一致です。
- ・ボランティア清掃実施人数の把握につきましては、ボランティア清掃ごみ袋交付申請時、申請書に実施人数を記入していただいておりますので、それらの延べ人数を清掃実施人数として把握しております。

●質問(9)_P5『生活環境の保全に関する条例に基づく指導』

近年は苦情内容が煩雑化している、とありますが、どのような苦情が増加していますか？

犬の糞害など減っていますか？

⇒【回答】

苦情の大半が草・木の越境に関するものですが、昨今市外におられる方などもいるためその都度対応を行っている状況です。
犬の糞尿に関する苦情は令和3年度1件、令和4年度2件となっております。

●質問(10)_P5『生活環境の保全に関する条例に基づく指導』

- ・前回の令和3年度、4年度目標値は297となっておりますが、どちらが正しいのですか？また異なる理由は何ですか？
- ・「環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている」とありますが、あいまいで意味不明です。どのような調査手段による評価ですか？数値で評価してほしいです(解決率など)。

⇒【回答】

- ・前回の297件という数字は、3年度1月末時点の数字を使った数字となっており、今回の351件という数字は3年度末時点の数字を使った数字となるため、351件が最終的な数値となります。
- ・生活環境の保全に関する要望を受けた際、土地所有者などに文書を発送しますが、文書の中で周辺住民の安全で良好な生活環境の保持のために対応をお願いしたい旨を付け加えており、趣旨賛同いただいた方に対応いただいている、と認識しております。

●質問(11)_P5『環境パトロール等の実施』

令和4年度の監視カメラ、看板の設置数として実績8件とありますが、内訳を教えてください。

⇒【回答】

令和4年度については、飯塚地区5件、穂波地区2件、庄内地区1件の看

板設置を行っています。

●質問(12)_P6『ペーパーレス化の推進』

ペーパーレス会議・研修の実施回数について、実績値(89回)や目標値100回が、会議・研修の何%程度に相当しているのか教えてください。また、指標は、回数よりも割合で評価したほうが良いように思います。

⇒【回答】

全体の会議数を把握し、割合での評価をすることは困難であるため、別の評価方法を検討いたします。

●質問(13)_P6『資源回収団体奨励補助金の交付』

交付される補助金について、古紙・古布がkgあたり8円、カンビン5円の補助になっていますが、業者は古紙12円～8円、アルミ缶120円です。この金額の差を是正することは考えていますか？

⇒【回答】

平成27年度に補助単価を1kgあたり、古紙・古布は9円から8円、空きかん・空きびん・菓子類等のかんは9円から5円に引き下げている経緯があります。

資源の価格等の動向を注視しながら、補助単価の設定については是正を検討いたします。

●質問(14)_P6『ペットボトルキャップ回収事業の促進』

・再生プラスチック製品の利用率は？一般市民に対して再生製品は周知されていますか？

・ボトル本体の再生率はどうですか？可燃ごみになっていませんか？ペットボトルから水筒等を持参するように変更していくべきではないかと思えます。

⇒【回答】

・再生プラスチック製品につきましては、ペットボトルキャップ回収にご協力いただいている団体へ調査を行い、再生製品を希望する団体へ年間回収量に応じて希望されたものを配布しているため、多くの団体に利用いただいていると見込まれます。

また、ペットボトルキャップ再生製品については、市報、市ホームページにて周知を行っております。

・飯塚市の分別方法において、ペットボトルは可燃ごみに分類されますが、資源プラスチックとして出せるペットボトルにつきましては、月1回拠点収納ボックスにて収集を行っております。

今後も、マイボトルの使用を啓発するとともに、ペットボトル飲料を飲む際は、キャップと本体を分け、それぞれを適切に分別・リサイクルするよう周知・啓発を行います。

●質問(15)_P7『フリーマーケット等の開催による再利用（リユース）の促進』

子ども服交換会について

交換ではなく、あげたい人、もらいたい人で捨てられている服の再利用が広がるのではと思うのですが。

⇒【回答】

子ども服交換会につきましては、子ども服の交換だけではなく引取も同時に行うことで、再利用の促進を行っております。

●質問(16)_P7『市職員の省エネ行動促進』

・省エネに関する 15 項目の設定内容を教えてください。

・市の購入物品について、業者と環境配慮物品購入の契約とかになっていないのですか？

⇒【回答】

・空調機の適正な運転、近距離用務の徒歩での移動等を含む 15 項目について、取組を呼びかけております。（補足資料参照）

・「飯塚市環境物品調達方針」を定めており、コピー用紙等の単価契約物品及び共通物品については、この方針に基づき、環境省の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める基準に基づく物品を調達しています。その他の物品については、各所属において、環境配慮物品の調達に努めることとしています。

●質問(17)_P7『公共施設における再生可能エネルギー利用の促進』

電力の単位は“kw”でなく、“kW”です。

⇒【回答】

ご指摘のとおり、修正致します。

●質問(18)_P8『地産地消の推進』

学校給食での地産地消推進の連携はあるのでしょうか？

⇒【回答】

市内小学校で学童農業体験学習と称して田植えや稲刈りを体験してもらう事業を行っており、学童農業体験で収穫した米については、「おいしい飯塚いただきます」と題して、市内生産の食材と併せて給食で食してもらっています。

●質問(19)_P8『地産地消の推進』

地元農産物の PR は良いことだと思います。

近年の小麦や大豆の問題に対して、飯塚での生産を増加させる計画はありますか？

⇒【回答】

主食用米の需要減に伴い、麦、大豆への転換について周知及び促進を行っており、麦については増加傾向にあります。大豆については近年の気候状況や土壌の特色等の影響により低単収が続いており、それに伴って作付

面積も減少傾向にあります。

●質問(20)_P8『市公式ホームページの充実』

職員の負担が…とありますが、専任の職員が情報管理をしてあるわけではないのですか？

⇒【回答】

ホームページを管理している担当職員は2名おりますが、市報作成・全庁分のSNS配信・各種取材業務も同様の職員で行っており、その任務だけを専任で行う職員は現在おりません。

●質問(21)_P8『AI自動応答サービスの導入促進』

・「FAQデータベースの整備を毎月継続することで高い正答率を維持することができた」とありますが、毎月の正答率を提示してほしい。

（令和3年度中にAI自動応答サービスに寄せられた質問に対して的確に答えられなかったための再学習を4,170件行なったと（4飯総務第1-55号）報告を受けています。これとの関係が知りたい。

・令和4年度の成果と令和5年度課題が同じ内容になっています。

⇒【回答】

・正答率は下記のとおりです。

令和4年4月：93.5%

令和4年5月：93.1%

令和4年6月：92.5%

令和4年7月：92.0%

令和4年8月：95.2%

令和4年9月：91.9%

令和4年10月：85.1%

令和4年11月：92.0%

令和4年12月：91.0%

令和5年1月：91.9%

算定期間は、例月16日～翌月15日まで

例) 4月：3月16日～4月15日までの期間分を算定

・令和5年度課題については、事務局の転記漏れによるものでしたので、下記のとおり修正します。

※修正後資料は、会議録作成後に市HP等で公表します。

『システム変更も含めた今後の方向性について、全庁的にアンケートを実施したが、コンセンサスを得ることは出来なかった。現システムを用いた運用変更、システムの見直しを含めた方針についての再検討と全庁に対しての丁寧な説明を経た、方針の決定を早急に行う必要がある。』

⇒【再質問・意見】

AIチャットポット（ぼたぼん）の回答登録数が令和3年度で2,453件、令和4年度2,507件ということで、令和4年度には54件追加で回答を用意したと聞きました。

情報公開請求をして確認をしたときに、ぼたぼんの回答が 4,170 件間違っているという回答をもらって、それに対して 54 件の追加登録をして、正解率が 95%以上になっているということですが、回答率の整合性がよくわかりません。

令和 3 年度から急にそんな変わることはないと思うので、令和 3 年度の 4,130 件の間違いがあって、登録数は 2,000 何件で、間違い件数が 4,170 件など、かなりわからないところがあるので、業務改善・DX 推進課に説明をお願いしたい。

⇒【回答】

令和 3 年度(4 月 15 日～3 月 15 日)の年間回答数は 37,625 件、再学習件数は 3,013 件、正答数は 34,612 件、正答率は 92%です。

令和 4 年度(4 月 15 日～1 月 15 日)の間の回答数は 25,366 件、再学習件数は 2,093 件、正答数は 23,273 件、正答率は 92%です。

<正答率の算出方法>

正答数(応答数-(回答未入力+表題なし+再学習))÷回答数(応答数-(回答未入力+表題なし))で計算しています。

回答数(チャットボットが返答した数)に対して、正答数(委託業者レポート作成時のジャッジでの正答の数)の割合を正答率として提示しておりますので、正答数 34,612 件÷回答数 37,625 件から、正答率 92%となっております。

(飯塚市は全体数(回答数)が多いため、再学習が 3,000 件近くあっても、正答率が高い数字がでてくる状況です。)

正答率算出については、あくまで委託業者スタッフが確認し、正答と判断した数を基に算出しております。

<再学習件数の差異について>

令和 3 年度中に委託業者スタッフが再学習と判断した件数が 3,013 件であり、この数値をもとに正答率が算出されています。しかしながら、委託業者のレポート作成後、本市職員が全データチェックにより再学習が必要と判断し、委託業者へ再学習指示を行った件数は 4,170 件となっております。そのため、業者による正答率レポート作成時より多数の再学習件数となっております。

<その他>

現在の AI 自動応答サービスについては、正答率の算出方法や運用手法について、業務改善・DX 推進課としても改善が必要と判断し、委託先事業者と協議を行っているところです。

●質問(22)_P9『小中学校における情報機器の導入推進』

パソコンの在り方について…

1 人の児童生徒に 1 台とありますが、逆行するようですが、調べ物などをするのに辞書の使い方もわからず、パソコンありきはどうかかなと…

⇒【回答】

小学校 3 年生の国語科で辞書の引き方を学習いたします。

1人1台の端末が整備されましたが、授業や学習方法が全て変わるものではありません。これまでに蓄積された教育実践とICTとのベストミックスを図っていくことが重要と考えております。

●質問(23)_P9『まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援』

- ・新しい生活様式に対応した事業とは、どのようなものでしょうか？
- ・まちづくり協議会の自主財源確保とは、具体的にどういうことでしょうか。

⇒【回答】

- ・密集回避、密閉回避など新しい生活様式を取り入れたオンライン会議や講演会などイベントの実施。
- ・地域資源の活用、開発により収入源となるものの販売や利用収入を得ること。クラウドファンディングの活用。市からの事業受託。

●質問(24)_P10『自治会への加入促進』

第3次環境基本計画が施行されて、1年が経過しようとしています。自治会やその他飯塚市関連のところで、どのように周知されてきましたか。

⇒【回答】

令和4年度の広報いづか6月号において、第3次飯塚市環境基本計画の策定について掲載し、周知を図りました。

また、令和4年6月に開催した第1回いづか環境ワークショップにおいて、概要版の配付を行ったほか、第3次飯塚市環境基本計画の説明を行い、本計画に対する理解を深めてもらうよう努めました。

●質問(25)_P10『自治会への加入促進』

自治会費（隣組費）が負担になる、電気代が高くなったため、街灯費の支出負担でさらに経費があがると、「自治会をやめようか」という声も聞く。個人負担に係る対策を、公助・共助の視点で検討が必要なのではないでしょうか。

⇒【回答】

自治会連合会の加入促進部会と連携して、今後どのような対応が必要か検討してまいります。

●質問(26)_P10『自治会への加入促進』

若い世代への加入促進が難題です。自治会に入るメリットを感じていない世代にどうアピールするのか、意見募集して自治会も変化していかないといけないと思う。

⇒【回答】

自治会連合会の加入促進部会と連携して、今後どのような対応が必要か検討してまいります。

●質問(27)_P10『市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出』

・市民交流プラザの認知度が低いと思う。もっと周知する必要があるのでは。

・「県内類似施設から得た情報を施設運営に…」とありますが、具体的にどのようなことでしょうか。有効活用に繋がることを期待します。

⇒【回答】

・ホームページや情報誌、SNSの活用など今後充実させていきます。

・類似施設の行っている先進事例を取り入れて相談者をコーディネートできるような体制整備を行ってまいります。

●質問(28)_P10『ワークショップ開催によるネットワーク形成支援』

環境団体の把握はできていますか。掘り起こしをしてください。

⇒【回答】

市内すべての環境団体の把握はできておりませんが、今後開催する環境ワークショップにおいて、環境団体への声掛けを積極的に行っていくよう検討いたします。

●質問(29)_P10『エコスタいづか開催による情報交換の機会提供』

エコスタの開催は最終の大きなイベントとして考え、ワークショップや情報交換会を小規模で数多く開催したらどうでしょうか。

⇒【回答】

より多くの地域住民の参加を促すため、各交流センター等での複数回の開催を検討いたします。

●質問(30)_P11『コスモス大学における講座開催』

コスモス大学の受講生に、エコスタや環境イベントの案内はされていますか？

⇒【回答】

コスモス大学の受講生に対し、個別でのエコスタ等の環境イベントの案内は行っておりませんが、市報や市ホームページ、隣組回覧などの様々な方法で環境イベント案内を実施しております。

●質問(31)_P11『エコ工房の利用促進』

現在コロナ禍で大変だと思うが、利用促進について参加者にアンケートをとったり、アイデアを出してもらったりしても良いのではないのでしょうか。

⇒【回答】

エコ工房において、来館者や環境教室・イベント参加者に対しアンケートを実施しており、環境イベント等の感想や今後参加してみたい講座等の意見を募り、以降の利用促進についての参考意見としております。

●質問(32)_P11『エコ工房の利用促進』

コロナ禍での参加者減少は、今後復活すると思いますが、エコ工房への交通の便が悪いことへの対応策はありますか。

⇒【回答】

過去の審議会においてエコ工房へのコミュニティバスの運行について提案がありましたが、利用者数の問題により検討は難しいと考えます。

交通手段により来場が難しい方でも環境教室等に参加できるよう、出前講座の拡充を行う等の対応策を行っております。

●質問(33)_P12『環境学習教材の配付』

4年生配付の副読本の活用状況を是非把握してください。同時に、副読本を活用してエコスタへの参加に繋がる取組や、図書館主催の調べ学習コンクールとコラボした活動が出来るの良いのではないのでしょうか？

⇒【回答】

環境副読本配付後、各小学校へ環境学習における環境副読本の使用状況の確認を行うよう検討いたします。

●質問(34)_P12『小中学校における環境保全活動の推進』

「日常生活において環境問題に関心を持ち、自分で情報を集めできることを考えます」を学校生活の中で取り組み、図書館を使う習慣に繋がると、「みんなができること」に繋がると思います。

⇒【回答】

例年、科学イベント「サイエンスモール」において飯塚図書館と連携して、環境にやさしい体験ブースを出展しているほか、エコスタ工作・体験ブースへの出展協力をいただいております。今後も図書館と結び付けた環境啓発活動を行うよう連携を図ります。

●質問(35)_議題(1)全般

今年度成果として文書記述がありますが、目標は数値で示されていますので、成果は達成率で記述して欲しい。

「・・・できた。」「・・・した。」との記述がたくさんありますが、実質ほとんど未達成のものがあります。

⇒【回答】

事務事業一覧においては、便宜上全て「目標値」と記載しておりますが、苦情処理件数等、「見込件数」として計上しており、必ずしも目標値を上回ることが良いことではないものも存在することから、全ての事業で一概に目標値に占める実績値の率によって評価することは難しいと考えます。

第3次環境基本計画の計画期間以降は、「成果」と「課題」で分けて記述しているため、未達成要因等については「課題」の部分に記載することとしています。

●質問(36)_『農業集落排水処理施設の維持管理』

令和4年度目標として設定されていた項目が削除されていたり、事務事業

No. が変更になったりで以前の計画書と整合が取れていない部分があります（111-1 竹林の整備面積、113-1 下刈業務範囲、211-4 加入戸数）。
削除するのでなく、達成率を報告してほしい。

⇒ **【回答】**

令和3年度第5回審議会でお示しした実施計画については、令和3年12月の照会に基づき作成したものであり、各事務事業の決算、事務事業の所管異動等を経たことに伴い、実施計画の変更が生じているものがございます。以下、ご指摘いただいている個別の事務事業及び指標について、廃止（削除）に至った経緯を記述します。（便宜上、記載する事務事業No.は上記審議会で提供した資料におけるNo.を記載しています。）

No.111-1：森林環境譲与税を活用した放置竹林の整備

上記審議会報告時は、令和4年度以降も事業継続の予定でしたが、まず、市有林の現況を把握するため市有林の調査を行うことといたしました。当事業において実施した意向調査をもとに、新たに市有林管理事業の実施を検討していますが、現時点においては調査段階であるため、事務事業の実実施計画等は定まっております。

No. 113-1：市有保安林の整備

当事業における指標のうち、『生活環境保全林管理』は明星時・仁保の市有保安林整備を、『下刈業務範囲』は、八木山の市有保安林整備を示してまいりました。

下刈業務については、植栽から一定期間の実施するものですが、令和3年度末時点で、令和4年度以降は下刈業務を要しないと判断されたため、指標として廃止したものです。

No. 211-4：農業集落排水処理施設の維持管理

当事業については、令和4年度から企業局企業管理課が事務を行っておりますが、事務事業の精査を行ったところ、区域内の施設整備はすでに完了しており、処理人口の普及よりも、処理施設の維持管理を主旨としているものであると判断しました。

このため、環境基本計画に定める取組の方向性『汚水処理人口普及率の向上』に直接結びつく事業ではないことから、事務事業一覧から削除しております。

なお、第3次飯塚市環境基本計画に係る年次報告（7月～8月審議会にて審議予定）において、農業集落排水処理施設のほか、公共下水道接続戸数、浄化槽設置戸数、その他汚水処理施設への加入戸数も含めたところで、汚水処理人口普及率の進捗を報告予定です。

⇒ **【※補足説明】**

それでは、事前質問 No. 36、広田委員からのご質問について、補足で説明させていただきます。

右下に「事前質問 No. 36 補足資料」と記載のある、A4の3枚綴りの資料をご確認ください。

令和3年度第5回環境審議会において、令和4年度実施計画ということで提出しました事務事業一覧の資料の中から、削除されている事務事業や、

指標がある、というご指摘になります。
削除の経緯については、回答の中に示しているとおりになりますが、どの事務事業を指しているのかを本審議会内で共有するために、補足資料を作成しております。

今回事前質問中のご指摘の箇所は、補足資料の中で赤枠で囲んでいますのでご確認ください。

それでは、事務事業別に説明いたします。

補足資料中の事務事業No.111-1「森林環境譲与税を活用した放置竹林の整備」については、森林環境譲与税を財源として、私有林の所有者に対する意向調査や、放置竹林の整備を行う事業で、昨年度の審議会でのご報告時には、令和4年度以降も事業継続の予定としていましたが、令和3年度末において、市有林の調査・把握をまず行うこととなり、当事業については廃止となりました。この調査をもとに、新たに市有林の管理を行う事業の実施を検討していますが、現時点では調査段階のため、実施計画等は定まっておりません。

補足資料2枚目の中の事務事業No.113-1「市有保安林の整備」の内の指標「下刈業務範囲」についてですが、こちらの指標は八木山地区における市有保安林整備を示していたものです。令和3年度末において、令和4年度以降、八木山地区の市有保安林については下刈業務を要しないと判断したため、指標として廃止したものです。もう一方の指標「生活環境保全林管理」については、明星寺・仁保の市有保安林整備を示すもので、こちらについては継続して整備を行っており、保安林整備事業自体は継続して実施しております。

補足資料3枚目中の事務事業No.211-4「農業集落排水処理施設の維持管理」についてですが、こちらについては、企業管理課への移管に伴い事務事業の精査を行ったところ、事業の主旨は施設の維持管理であり、加入戸数の増を主旨としたものではないことから、取組の方向性「汚水処理人口普及率の向上」には合致しないことから、事務事業一覧からは削除しております。こちらは、先の2つとは異なり、施設維持管理事業としては継続して稼働しております。この農業集落排水処理施設の接続人口を含めた、市全体の汚水処理人口普及率の進捗については、毎年年次報告にて報告予定です。

以上、補足説明を終わります。

議題(1)に関する追加質問・意見について

●議題資料_P4『遠賀川水系における水質の監視』

⇒【当日質問・意見】

年2回(9月・2月)水質検査を行っていて、9月検査完了の報告が、HPに載らないのは何故か？

2月も載っていていいはずなのに、令和4年度の報告がどこにも載っていないのは、なぜですか？どこの課が担当なのですか？

出来れば、検査ごとに報告していただければ、チェックできるのでお願い

したい。

⇒【回答】

担当課は、環境整備課でございます。

今年度は、9月と2月の報告を、委託業者より年度まとめて3月中旬に受けました。現在、HPに掲載準備中です。来年度は、検査終了後の報告は、その都度していただくよう委託業者に依頼し、HPに反映させます。

議題(2) 第3次飯塚市環境基本計画「令和5年度年次報告書」について

○質問-回答

●質問(37)_P1『荒廃森林の整備』

令和5年度の目標値が、令和4年度の目標値から大幅減となっている事業について、目標値の決め方について補足説明をお願いします。

⇒【回答】

市内私有林の事業対象森林面積が減少したことによります。

●質問(38)_P1『森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付』

「次年度以降の改善策」にある「新規団体」とは、どのような団体でしょうか。

⇒【回答】

里山林の保全管理や森林資源を利活用する取組を行う、地域住民や森林所有者等で組織された団体となります。

●質問(39)_P1『森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付』

令和5年度の目標値が、令和4年度の目標値から大幅減となっている事業について、目標値の決め方について補足説明をお願いします。

⇒【回答】

本交付金は同一団体同一事業について3年までの補助となっており、令和5年度は既存の団体についての交付がなくなり、交付対象は新規団体あるいは新規事業のみ対象となります。令和4年度は4団体の活動を見込んでいましたが令和5年度は新規を1団体見込んでいるため目標値が減少しております。

●質問(40)_P1『市有保安林の整備』

「次年度以降の改善策」にある「計画」とは、どのような計画でしょうか。

⇒【回答】

福岡県からの補助金を受けて整備している展示林がありますが、その展示林の整備に関して5か年の整備計画を立てております。

●質問(41)_P3『浄化槽設置整備事業補助金の交付』

目標値が220基ではなく218基である理由は何か。

⇒【回答】

これまでの整備目標は戸建ての住宅のみを想定したものでしたが、令和5年度以降、共同住宅における合併処理浄化槽への転換に対し補助金を交付するよう、制度を改正する予定です。

この改正に伴い、予算の範囲内で人槽ごとの補助単価を勘案しつつ調整したことにより、従前の220基から2基減の218基を当該年度以降の整備目標とすることになりました。

整備基数ベースでは目標値が低下しておりますが、共同住宅を対象に加えたことにより、人口ベースでの合併処理浄化槽普及には貢献できる目標になっているものと考えております。

●質問(42)_P3『浄化槽設置整備事業補助金の交付』

現在、くみ取便槽の世帯は何軒でしょうか。

今後浄化槽設置困難な住宅に対する計画はありますか？

⇒【回答】

・くみ取便槽利用世帯数の把握はしておりませんが、公共下水道、合併処理浄化槽のいずれも普及していない人口(単独処理浄化槽、くみ取便槽、不明)は、令和3年3月末現在で23,400人です。

・現在本市が施行しておりますのは、あくまでも個人が設置する合併処理浄化槽に対する補助事業であることから、浄化槽設置困難世帯に対し市が何らかの施策を講じる計画はございません。

●質問(43)_P3『公共下水道の水洗化促進』

「次年度以降の改善策」にある「効率性」とは、何を指すのでしょうか？また、効率の良否を判定する際の基準(判定項目)は、どのようなものでしょうか？

⇒【回答】

「効率性」とは、投入予算額や投入人員に対してどの程度水洗化率の向上に効果を得られているのか、また、手段が適切であるかということを指します。

現段階で実施している公共下水道の水洗化促進事業には、改造費補助金、水洗化支援融資制度など複数の支援制度があり、それぞれに効率性等を検討し、事業継続や実施手段等を検討していきたいと考えております。

●質問(44)_P4『廃食用油回収事業の推進』

「令和4年度課題」にある、「目標値」の算出根拠を教えてください。

⇒【回答】

令和2年度廃食用油回収量では4,2050という実績がありましたので、それを上回る目標値(5,0000)を令和3年度及び令和4年度に設定しておりました。また、令和3年度は廃食用油回収量が3,5900と減少しており、

今年度回収量も同等のペース且つ、進捗は61.2%（1月末時点）でしたので、令和5年度目標値は4,000に設定しております。

●質問(45)_P4『屋外広告物の除去による景観保全』

令和5年度の目標値が、令和4年度の目標値から大幅減となっている事業について、目標値の決め方について補足説明をお願いします。

⇒【回答】

以下の2つの理由から、令和5年度の委託除却回数を令和4年度の約半分に減らすため、令和5年度の除却件数の見込みは単純計算で約100枚となります。しかし除却件数の維持・向上を目標として、令和3、4年度実績値と同等の200枚と設定いたしました。

- 1、過去5年間の除却枚数が減少傾向にあった。
- 2、令和3年度および令和4年度1月末時点の実績値が約200枚であった。

●質問(46)_P5『生活環境の保全に関する条例に基づく指導』

目標値が336件と、令和4年度実績値よりも多くなっている理由は何か。

⇒【回答】

令和5年度目標値については、335件に修正致します。

※修正後資料については、会議録作成時に市HP等において公表します。直近2カ年の令和3年実績値(380件)と令和4年実績値(1月末時点)(290件)の平均値を見込み件数として、目標値としております。

●質問(47)_P6『生ごみ処理機に関する普及・啓発』

・令和4年度課題として「生ごみ処理機のサイズが小さく、実用に適さないケースが見受けられる」とありますが、大型のものは不向きと考えます。設置場所が制限され、移動もできない、ベランダにも置けない等の問題が発生します。

現行の約5kgサイズを複数個配置することが実用的です。季節によって日光の当たる場所に移動できるし、ベランダでもOK。家族構成によって台数を増やせませす。通常3台程度で十分です。

・家庭ごみの4割近くが生ごみと言われていています。単純計算で10年間に6%（1年毎に0.6%）の世帯に普及できれば家庭ごみ削減目標2.5%が達成可能です。

・現在のワークショップでは人数分の工具が揃わず、事前に組み立てたものを当日配布する形をとっています。ボランティア募集等で組み立て応援し、ワークショップ受け入れ人数を増やし、事業を今後も継続して広く普及させてほしい。ごみ焼却に使う重油使用量も確実に減せませす。

・ワークショップ形式でなくとも環境整備課等で500円で販売してはどうでしょう（完成品でなく、材料セットだけでも良いと思います）。

⇒【回答】

生ごみ処理機のサイズにつきまして、サイズが不十分であり実用に適さない場合は、よりサイズの大きな生ごみ処理機もしくは同サイズの生ごみ処

理機を各自追加で作成いただくよう、作成教室にて呼びかけます。
生ごみ処理機作成の材料費と予算の関係上、ワークショップ受入人数の増加やごみ処理機本体の販売等は難しいと考えますが、今後の参加人数状況によっては予算増額等を検討いたします。

●質問(48)_P8『再生可能エネルギー導入目標の策定』

2050年度までの脱炭素化の目標実現に向けての事業ですが、R5年度の目標値(1と0)、R7年度廃止というのはどうしてですか？

他の事業で目標実現に移行ですか？

⇒【回答】

当事業では、再生可能エネルギーの導入目標を策定し、策定した導入目標を、第3次飯塚市環境基本計画(地球温暖化対策実行計画【区域施策編】)に反映させるまでを、事業内容としています。

よって、R5年度に導入目標の策定を行い、R6年度に区域施策編への反映が完了すれば、事業としては終了となりますので、R7年度以降は廃止としております。

当事業の完了の後、この導入目標実現に向けて新規事業の実施、または既存事業の改善・継続を行い、脱炭素化の目標実現を目指します。

⇒【※補足説明】

事前質問No.48、西谷委員からのご質問について、補足で説明させていただきます。

ご質問いただいておりますのは、議題資料8頁の事務事業No.322-2「再生可能エネルギー導入目標の策定」についてです。

こちらは令和5年度からの新規事業になり、温室効果ガスの2030年度の46%減、2050年度のカーボンニュートラル実現のために、どれだけの再生可能エネルギーを導入する必要があるのかという導入目標や、その導入目標を実現させるための施策等を策定する事業になります。

こちらの事業について、各指標の令和5年度目標値と、事業の方向性のところについて、ご質問をいただいておりますが、事業のスケジュールを示してご説明したいと思っておりますので、補足資料を準備しております。

右下に「事前質問 No. 48 補足資料」と記載のある、A4の2枚綴りの資料をご確認ください。

1枚目に、事業のスケジュールを示しております。こちらの事業については、2カ年での実施となっておりまして、1年目の令和5年度に「再生可能エネルギー導入目標」の策定を行い、2年目の令和6年度に、策定した導入目標を、地球温暖化対策実行計画【区域施策編】に反映させるといったスケジュールとなっております。

よって、議題資料においては、「再生可能エネルギー導入目標の策定」の令和5年度目標値が1、「地球温暖化対策実行計画【区域施策編】への反映」の令和5年度目標値は0となっております。後者の「【区域施策編】への反映」については、令和6年度の目標値に1とあがってくる予定です。また、【区域施策編】への反映についてですが、こちらのイメージを補足

資料の2枚目に示しております。
策定した「再生可能エネルギー導入目標」の各要素を要約し、【区域施策編】の中に追加挿入するといった形を予定しております。
【区域施策編】については、第3次飯塚市環境基本計画に含まれるものになりますので、【区域施策編】への反映は、すなわち、環境基本計画の改訂という形になります。
よって、この事業が完了したら、環境基本計画自体も改訂される、という形になりますので、再生可能エネルギー導入のための事業についても引き続き、環境基本計画に基づいて実施していく、という形になります。
以上、補足説明を終わります。

●質問(49)_P9『まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援』

「飯塚市まちづくり協議会補助金交付要綱」とは？
法人化に向けた検討について、利益追及とならないよう十分な検討・審議が必要と思う。
この審議会で検討する問題なのかとも思います。

⇒【回答】

従来は、市の各課から事業ごとに各団体に地域向け補助金が交付されて、活動が個別に行われていたため活動内容が重複し、非効率な面もありました。
これらの地域向け補助金を統合し、各団体が連携、協力し地域が一体となった取り組みが促進されることを目的とした、まちづくり協議会に対しての補助金です。
法人化については、関係部署と十分協議を行ってまいります。

●質問(50)_P10『自治会への加入促進』

令和5年度の目標値が、令和4年度の目標値から大幅減となっている事業について、目標値の決め方について補足説明をお願いします。
⇒【回答】
現実に合わせた目標としています。
72%の目標は第2次飯塚市総合計画の目標値であり、年々加入率が減少していることから今回、単年度目標値に修正しております。

●質問(51)_P10『自治会への加入促進』

自治会加入促進キャンペーン、加入促進ポスター、のぼり旗、啓発グッズ、防犯灯ステッカー、横断幕等さまざまな取り組みがなされていますが、加入率が下がる一方であることの要因分析をされていますか？こういった内容に予算を使っても加入率改善には全く効果がないと思います。
⇒【回答】
加入率減少の要因として、未加入者の増加（新興住宅地、集合住宅の未加入問題）、退会者の増加（高齢による役や会費の負担を理由）などが挙げられます。

視覚に訴える啓発グッズを活用し、少しずつでも加入率の向上につなげて行きたいと思います。

●質問(52)_P10『環境に関する市民ワークショップの開催』

開催場所が庁舎とクリーンセンターでした。各交流センターで開催するか、リモートで結んで開催する等、より多くの人に関わってもらえるように工夫できませんか？

市民全体の問題として、小中高生の参加もできるワークショップにしてほしい。

⇒【回答】

令和5年度は、開催場所を本庁だけでなく、各交流センター等にて環境ワークショップを開催するよう検討いたします。

また、実施内容につきましても小中高生向けの内容のワークショップを組み込むよう検討いたします。

●質問(53)_P10『環境に関する市民ワークショップの開催』

・「ワークショップの企画・進行等を市事務局が行った場合、事業規模に対して業務負担が過大であることから、ファシリテーターや講師等を外注する必要がある。」とありますが、講師は外注するにしても企画・進行は環境整備課が受け持つべきと思います。

市民の声・ニーズを受け止め、啓蒙していくのが環境整備課の業務であり、自部署の業務対応レベル・意識を上げるべき課題もあると思う。

外注すればますます自分事として考えなくなると思います(出席者がほとんど地元大学生のワークショップでは、作成された表を大学に持ち帰ってほしいと依頼していました。これがさらに拡大されると思う)。

・元環境会議メンバーなどにボランティアとして手伝ってもらう方法も考えてはいかがでしょうか。

⇒【回答】

・ワークショップごとの実施内容の企画や司会進行等は今年度同様市事務局が実施する予定ですが、ファシリテーターや講師役までを市事務局が実施するとなると事業規模に対する業務負担が過大になってしまうため、また、本事業を継続させるため、ファシリテーター・講師の外注を検討しております。

・また、ワークショップの実施内容によっては市民へワークショップ補助のボランティアを募集するよう検討いたします。

●質問(54)_P10『ワークショップ開催によるネットワーク形成支援』

・前回の令和4年度目標は1で今回は10になっています。変更された理由は何でしょうか？

・「市報やホームページ掲載による公募のみだと、団体からの参加者を得ることが難しく、直接的な声掛けが求められる」とありますが、動員と考えられるような半強制的な働きかけは止めて欲しい。仕方なしに出席した

という声が出たり、消極的だったりします。

⇒【回答】

・ご指摘いただきました箇所につきましては、前回掲載分の目標値が1となっておりましたが、目標値があまりに低いと判断したため、今回の目標値を10に変更した次第です。

・また、環境保全活動に取り組む団体の皆様や環境保全活動に興味のある方へワークショップのご案内を行うことはありますが、市民に対し、半強制的な働きかけで参加者を募集することはございません。

●質問(55)_P10『エコスタいいづか開催による情報交換の機会提供』

・協賛団体は環境保護に積極的な団体を選定してほしい（環境保護活動に無関係な団体は外してほしい）。

・また、景品についても環境保護に関係あるものにしてほしい（今回お肉を景品にしていますが、環境保護に反する内容だと思います。例えば肉でなく、代替肉にする等配慮をお願いします）。

⇒【回答】

近年、多くの団体が環境保護活動を行っていることを考慮し、市内の様々な団体に協賛依頼を行っております。

また、より多くの市民へ環境への意識向上や各団体の環境保全活動の紹介を行うため、本イベントをより魅力的なものとする必要がありますので、抽選会景品を認知度の高い団体より提供いただいたものや嗜好性の高い商品としました。

⇒【再質問・意見】

エコスタで抽選会の景品の中に牛肉とかがあって、牛肉は環境問題に敏感な人は、食べないくらいに行動すべきこただと、私は思っています。

調べてもらったらわかると思いますが、これを景品にするっていうことは、これは環境整備課の考え方として、いくらみんなが好かれる大衆励行みたいなものより、環境問題を考えてもらうためのエコスタだと思う。

環境問題のリーダーとしてずれている。見解をお聞かせください。

⇒【回答】

地元食材、地産地消、食品ロスの観点、飯塚市ブランド牛のPR応援を兼ねて景品（協賛）とさせていただきました。

⇒【意見・提案】

わからないではないけど、エコスタだから牛1頭食べられるまでに2年かかる。その間、餌代や広大な土地利用等考えると、これらに費やされたエネルギーは環境に良くない。たんぱく質源としては、代替食品大豆ミートなどを景品とするべきだ。今年は仕方ないとして、今後の取り組みとして考えてもらいたい。

●質問(56)_P12『環境学習教材の配付』

良い教材なので、小学校他学年や、中学校にも積極的に配付してほしい。

⇒【回答】

現在は市内各小学校の環境学習が始まる 4 年生向けに配付を行っておりますが、その他学年や中学校への配付につきましても検討いたします。

議題(3)その他

※橋本課長より、令和 5 年度・令和 6 年度における『再生可能エネルギー導入目標等策定事業』に係る審議協力をお願い有。

⇒【当日質問・意見】

「再生可能エネルギー導入目標の設定」ということで新規に行われるということですが、来年度色々な調査をなさっていくということですね。そしてその調査をもとにして、次年度に策定改定をするため？次年度に実行するため？の計画を立てるのですか。

その中身を大まかで構わないので、どのような内容、項目について調査をなさるのですか。そしてその調査が完了した後、審議会で調査をとおっしゃっていますが、何をどのように審議するのか、ある程度イメージや見通しができているなら、方向性についても教えていただきたい。

⇒【回答】

西谷委員の事前質問に対しての補足資料No.48 をご覧ください。1 枚目のスケジュールの方に真ん中の段の策定支援業務のところに、主な調査項目といますかそういったものが載っています。順番に読み上げていきますと、Ⅰ. 温室効果ガス、再エネ導入・温室効果ガス削減のための取り組みに関する基礎情報の収集と現状分析、こちらが市民の方や事業者の方にアンケートを取って、それぞれがどういった温室効果ガス削減に対する取り組みを行っているのか、設備導入がどれくらい進んでいるのかなどの調査を行うというものです。Ⅱ. 将来の温室効果ガス排出量に関する推計、こちらが将来的な温室効果ガス排出量がどの程度の推移を辿っていくのか、何の取り組みも行わない場合「BAU ケース」というものですが、そこに対してこれだけ設備投資をすればこれだけ減らせるといった推移を見るものです。Ⅲ. 地域の将来ビジョン・脱炭素シナリオの作成とありますが、将来ビジョンにつきましては、どういった再エネ、例えばそれが太陽光であったり、水力であったり、風力はちょっと難しいかとは思いますが、色々な再生可能エネルギーがありますけど、それがどの分野に、例えば家庭にどういった再生可能エネルギーを導入して、どれだけの電力が必要でといったものを随時したもの作る、これが将来ビジョンとなります。次に、Ⅳ. 再エネ・省エネ設備導入目標の作成です。これは、事業の趣旨になりますが、実際に温室効果ガスの排出量 2030 年 46%減、2050 年の実質温室効果ガス排出量ゼロを達成するために、それぞれの年度でどれだけの再生可能エネルギーをどの部門に何 kW 導入できれば、そこが達成されるのかという目標を作成する。最後に、その目標各部門排出量減を実現するために、市としてどういった施策を打てば良いのかというところを検討するのが、Ⅴ. 導入目標の実現に必要な政策及び指標の検討、重要な施策に関する構想の策定となります。

	<p>⇒【再質問・意見】 色々な事業を行って、どれだけ減らしていけるのかの推量することはわかりました。 飯塚市全体の二酸化炭素排出量とか再生可能エネルギーとかで代替する全体的排出量っていうのは、既に把握されていらっしゃるのか。</p> <p>⇒【回答】 そうですね。そこは簡易な按分計算ではございますが、環境省のデータを用いながら、簡易計算ではありますけども、その把握はしております。どこの分野が多くてとか、飯塚市は民生部門とって、家庭部門とかが多めなど、部門別の排出量も把握はしております。</p> <p>⇒【委員長よりコメント】 来年度調査をすることとなりますが、その進捗状況とかそういうものを審議会の中で報告できるようにしていくと思います。</p> <p>閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題(1)(2)資料_第3次飯塚市環境基本計画に基づく事務事業一覧_令和4年度実施状況及び令和5年度実施計画について ・ 事前質問 No. 16_補足資料 ・ 事前質問 No. 36_補足資料 ・ 事前質問 No. 48_補足資料
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開</p>
<p>その他</p>	

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)													
							指標名称【単位】	目標値及び実績値																
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-1	荒廃森林の整備	農林振興課	平成30年度から令和9年度までの10カ年で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある人工林で間伐等を実施し、公益的機能を長期的に発揮できる森林を目指すために福岡県森林環境税基金からの交付金(交付率10/10)を活用し実施するもの。	荒廃森林整備面積(単年度)【ha】	令和3年度目標値 174	令和4年度目標値 174	令和5年度目標値 121	昨年度持ち越しとなった個所を中心に整備を実施できた。	コロナの影響もあり、委託業者が説明会を開催できる回数が減り、事業について所有者の理解および同意を得にくくなっている。												
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)															
								137.57	104.17															
							荒廃森林特定調査面積【ha】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値														
								400	460	313														
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)															
			406	453																				
		3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策											
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)								維持	維持	縮小	早期発注を行い調査・整備期間を確保する。要整備森林について確実に所有者の同意を得られるように委託業者と連携して所有者への事業説明を行う。											
		基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-2	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民等による里山林保全・竹林整備及び森林資源利用・森林機能強化等の共同活動への支援のため交付金を交付する。	保全された森林面積【ha】	令和3年度目標値 24.1	令和4年度目標値 24.1	令和5年度目標値 12.9	交付金を必要としている団体に対して適切な交付を行っている。	既存の団体については3年間の補助期間が経過するため、新規団体の設立がなければ次年度は交付対象組織が不存となる。										
										令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
										16.1	0.3													
									活動組織【組織】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値												
										4	4	1												
										令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
	3			1																				
3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策													
事業の方向性(維持・拡充・縮小)								維持	拡充	拡充	新規団体の設立支援。													
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全			里山の保全	112-1	竹粉砕機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	従来の施策では対応が追い付かないために里山の荒廃や放置竹林面積の増加等といった地域課題がある。その解決のために森林整備基金を活用し、竹粉砕機を導入し、市民団体や市民の方々へ貸し出し、活動支援を行うことで里山林保全や竹林整備につなげようとするもの。	竹林伐採面積【ha】	令和3年度目標値 1.2	令和4年度目標値 1.8	令和5年度目標値 2.4	今年度で4台の竹粉砕機を貸出用に本庁、筑穂・庄内・瀬田の各支所に配置することができた。	納期の問題および操作説明会受講必須などの条件から、今年度導入した2台については1月からの稼働となり、想定していたほどの貸し出しを行えなかった。										
										令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
										0.1775	1.2													
									竹粉砕機貸出日数【日】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値												
										45	300	403												
										令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
			29	61																				
		3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策											
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)								拡充	維持	維持	広報誌による制度周知。操作説明会の機会を増やす。											
		基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	保安林の整備による自然災害の防災・減災	113-1	市有保安林の整備	農林振興課	市有保安林が水源涵養、災害防止等の指定されている目的を果たしていけるように適切な維持管理を行う。	生活環境保全林管理【ha】	令和3年度目標値 4	令和4年度目標値 4	令和5年度目標値 4	生活環境保全林内の整備が必要な遊歩道を把握した。	今後、生活環境保全林としての機能を適切に発揮できるように計画に基づいて整備を進める必要がある。										
										令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
										5.76	3.11													
									3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策				
									事業の方向性(維持・拡充・縮小)								拡充	維持	維持	計画に基づいた整備を行う。				

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果 (1月末時点)	令和4年度課題 (1月末時点)			
							指標名称【単位】	目標値及び実績値						
基本目標1 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	生物多様性の保全	希少動植物・在来種の保護・保全	121-1	希少動植物・在来種に関する情報発信	環境整備課	市報等の媒体により、保護・保全すべき希少動植物、在来種の情報発信を行う。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の動植物を保全する意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和3年度目標値 -	令和4年度目標値 1	令和5年度目標値 1	市報における希少動植物についての情報発信は行えなかったが、市報8月号において、特定外来生物：ツマアカスズメバチについての注意喚起を行った際に、生態系の保全を心がけるよう呼びかけた。 令和5年1月末時点において、自然体験プログラムを18回開催しており、延べ189名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。	市報掲載料は2か月に1回、1/2頁分の予算計上であり、発信する情報の選別が要される。		
							令和3年度実績値	年度実績値 (1月末時点)						
							-	0						
							令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値					
							300	300	300					
							令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)						
		159	189											
		3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策	
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）							維持	維持	維持	市報掲載等による情報発信		
		外来生物の拡大防止	122-1	外来生物に関する情報発信	環境整備課	市報、市ホームページ等の媒体の活用により、外来生物に関する情報発信を行い、外来生物を発見した際の適切な対応の周知に努め、拡大の防止を図る。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の生態系に関する知識や保全意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和3年度目標値 -	令和4年度目標値 1	令和5年度目標値 1	市報8月号において、特定外来生物：ツマアカスズメバチについての注意喚起を行ったほか、ヒアリ、オオキンケイギク、セアカゴケグモについて、市ホームページでの情報提供を行った。 また、自然体験プログラムを18回開催し、延べ189名の参加者に対し、生態系保全に関する啓発を行った。	特定外来生物の発見報告を受けた際の、現地確認・同定作業の人的負担が過大。本年度は4件のツマアカスズメバチ発見の通報を受けたが、同定作業の結果、いずれも他種のスズメバチだった。		
							令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)						
							-	1						
令和3年度目標値	令和4年度目標値						令和5年度目標値							
300	300						300							
令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)													
159	189													
3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）							維持	維持	維持	特定外来生物発見時の報告様式を作成し、同定作業に係る人的負担を抑制する。				
自然とふれあえる場の創出・確保	123-1	自然観察会の開催	環境整備課	主に小学生とその親世代を対象とした自然体験プログラム「いいねん！」を開催し、広く市民に自然と触れ合う機会の提供を行う。	自然体験プログラム開催数【回】	令和3年度目標値 22	令和4年度目標値 22	令和5年度目標値 22	令和5年1月末時点において、自然体験プログラム「いいねん！」を18回開催し、189名の市民が参加した。（22回/年開催予定。うち2回は参加申込なしにより中止、2回は3月に開催予定） 従前では、小学生及びその親世代を対象としていたが、昨年度より未就学児及びその親世代を対象とした自然体験プログラム「おさんぼ・いいねん！」を開催し、幼少期から自然と触れ合う機会の提供を行っている。	自然体験プログラムにおいて現地指導（昆虫の捕獲、動植物の解説等）を行う講師は、開催前の現地確認、観察会ルートの設定、当日資料の作成など、当日の現地指導以外の事前準備に多くの時間を費やしており、講師謝礼金1万円/回に対し、負担が過大となっている。				
					令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)								
					8	18								
					令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値							
					300	300	300							
					令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)								
159	189													
3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）							維持	維持	維持	・講師謝礼金単価の引き上げの検討 ・イベント周知の強化				
自然とふれあえる場の創出・確保	123-2	水生生物観察会等による自然と触れ合う機会の提供	環境整備課	エコ工房において、水生生物観察会やバードウォッチング等を開催し、参加者に自然と触れ合う機会の提供を行う。	関連講座の開催回数【回】	令和3年度目標値 3	令和4年度目標値 3	令和5年度目標値 3	エコ工房が実施する環境教室の一環として、水生生物観察会を1回、バードウォッチングを1回行った。（水生生物観察会については、当初2回開催予定だったが、悪天候により1回中止）	特に水生生物観察会の実施にあたっては、開催にあたって河川の水量も考慮する必要があり、開催前日も含めた天候の影響を受けやすい。				
					令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)								
					2	2								
					令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値							
					60	60	60							
					令和3年度実績値	令和4年度実績値 (1月末時点)								
25	26													
3カ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）							維持	維持	維持	開催可否を天候に左右されない屋内での生物観察教室等の開催検討、予備日の設定				

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値				
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	河川などの水質改善	汚水処理人口普及率の向上	211-1	公共下水道の整備	下水道課	5~7年間で見直しを行う公共下水道事業計画に基づき、下水道を整備することで公共下水道整備地区を拡大し、市民の快適で衛生的な生活環境の整備と公共用水域の水質を保全するもの。	整備率(対事業計画区域) ※整備面積/事業計画区域面積【%】	令和3年度目標値 84	令和4年度目標値 84.3	令和5年度目標値 84.5	事業計画面積の約84%の整備が完了し、約5.3万人の市民が公共下水道を利用している状況であり、事業の目的である市民の快適で衛生的な生活環境の整備と公共用水域の水質保全に寄与しているものと考えられる。	公共下水道事業計画区域の変更により公共下水道を整備する区域には、速やかに周知を行い、令和9年度の整備完了を目指す。
								令和3年度実績値 83.98	令和4年度実績値(1月末時点) 84.43			
							3ヵ年実施計画					
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充		
			211-2	浄化槽設置整備事業補助金の交付	企業管理課	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境を保全するため、住宅用小型合併処理浄化槽の設置に対し、補助金を交付するもの。	浄化槽設置基数【基】	令和3年度目標値 220	令和4年度目標値 220	令和5年度目標値 218	補助金交付件数の目標は達成し、未算定ながら浄化槽普及率も向上の見込みである。引き続き水質汚濁防止の防止に向け合併処理浄化槽の普及に努める。 ※浄化槽設置人口の算定は年度終了後に行うため、現時点で浄化槽普及率は未算出	くみ取便槽、単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換件数が、想定ほど伸びなかった(予算要求時の想定:59件、令和4年度見込:51件)。水質改善を図る上では合併処理浄化槽への転換が重要であることから、いまだくみ取便槽、単独処理浄化槽を使用している世帯に対し、合併処理浄化槽への転換を誘引するための方策を講ずる必要がある。
								令和3年度実績値 186	令和4年度実績値(1月末時点) 220			
							3ヵ年実施計画					
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持		
			211-3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	個人が自宅の排水設備(水洗化)工事を行うにあたり、経済的負担を軽減させる制度を運用し、公共下水道の水洗化率の向上を図り河川の水質を向上させる。	公共下水道の水洗化率 ※水洗化人口/処理区域内人口【%】	令和3年度目標値 100	令和4年度目標値 100	令和5年度目標値 100	水洗便所等改造費補助金 40件、水洗化率向上 0.45ポイント	水洗便所等改造費補助金制度について、令和5年度以降はコストの効率性、補助対象、補助額等について検討が必要がある。
								令和3年度実績値 89.99	令和4年度実績値(1月末時点) 90.44			
							3ヵ年実施計画					
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充		

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値				
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	環境美化活動の推進	まちなか美化活動の推進(花いっぱい運動、一斉清掃)	221-4	ボランティア袋の交付	環境整備課	飯塚市内の公共の道路その他公共の場所の清掃を行うためのボランティア袋を交付し、市民によるボランティア清掃活動を促進する。	ボランティア袋配付枚数【枚】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	地域環境の保全と美化のため、合計6,082枚のボランティア清掃ごみ袋を申請者へ配付し、4,410人がボランティア清掃を行った結果、清潔で快適な地域環境の維持に寄与した。	ボランティア清掃活動の実施が活発でない地域への環境美化活動事業の紹介や、ボランティア清掃への新規参加者の獲得のため、この事業の更なる周知を行う必要がある。
								4,500	5,000	6,000		
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)			
								6,082	5,738			
								令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値		
								125	150	180		
		清掃箇所数(清掃実施回数)【箇所】	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)								
			181	161								
			3カ年実施計画									
			計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策					
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	当事業概要、市職員による一斉清掃について市報、市ホームページ等を用いた周知を行い、環境美化活動への関心を寄せてもらう。					
生活マナーの向上(ポイ捨て、ペットの糞の放置防止)	222-1	生活環境の保全に関する条例に基づく指導	環境整備課	環境問題に関するさまざまな苦情に対し、現地調査等を行い、関係者に対し改善指導等を行うもの。	苦情処理件数【件】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	近年は苦情内容が煩雑化してはいるが、個々の苦情の解決を図ることで、環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。	条例施行後、住民等からの苦情の申出については、関係課及び関係機関と連携を踏み対応しているが、原因者が特定できない事例等の対応について検討する必要がある。また、これまでと同様に苦情に対し速やかに現場を確認し、適切な指導を行うとともに、環境に関する啓発を行い、さらに市民の環境保全意識の向上を図る必要がある。		
						351	351	336				
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
						380	290					
						計画年度	令和5年度	令和6年度			令和7年度	次年度以降の改善策
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持			維持	啓発を継続的に行う。
地域猫活動の促進による糞害被害の防止	222-2	地域猫活動の促進による糞害被害の防止	環境整備課	地域猫活動に取り組む住民等で組織される団体を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、もって猫に起因する生活環境被害の軽減及び猫の引取数の減少を図る。	手術券を活用し手術した頭数【頭】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	今年度新たに1団体が活動を開始し、10頭の不妊去勢手術完了を達成した。また、活動地域内での猫の遺棄が多発している問題に対し、活動地域の管理者や警察と連携をし、遺棄を防止するためのポスターを作成と掲示を行い、遺棄の防止に関して一定の成果を残した。	登録団体が1団体増加したものの、活動区域が限られているため、市内全域で本事業の目的を達成するに至っていない。地域猫活動の認知度が依然として低いことが課題であり、多様な手段で地域猫活動の周知を行う必要がある。		
						10	10	25				
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
						8	10					
						計画年度	令和5年度	令和6年度			令和7年度	次年度以降の改善策
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	維持			維持	新規団体の活動を推進するために、市報やホームページ、SNS等の多様な手段で地域猫活動の周知を図り、地域猫活動の認知度を向上させる。
不法投棄の防止	223-1	環境パトロール等の実施	環境対策課	市民の清潔な生活環境保持のため、 ・環境パトロールの実施や不法投棄物の回収および監視カメラ・看板等の設置作業 ・依頼を受けた各課所管の市有地の草刈りや回収、側溝・樹木等の消毒作業を行う。	パトロール日数(飯塚地区)【日】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	公衆衛生を保ち良好な生活環境が得られるよう、引き続きパトロール及び啓発・指導・監視を継続し、力を入れていきたい。	市有地・私有地における不法投棄は後を絶たない状況であり、不法投棄をされないような効果的な管理の推進について検討していきたい。		
						240	240	240				
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
						240	201					
						令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値				
						340	340	340				
					パトロール日数(頼田、庄内、穂波、筑穂地区)【回】	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
						341	283					
						令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値				
						30	30	30				
						監視カメラ、看板の設置数【件】	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)				
							23	8				
3カ年実施計画												
計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策								
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	・環境パトロールにおける強化月間を拡充するなど、不法投棄監視の充実を図る。 ・土地所有者(所管課)に対する環境美化啓発の推進を図る。 ・適正な廃棄物処理に従わない悪質な事例に関しては、警察との連携強化を図る。								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)										
							指標名称【単位】	目標値及び実績値													
基本目標II うるおいのある快適な生活環境をつくる	公害対策の徹底	騒音、振動、悪臭など公害の監視・指導の徹底	231-1	事業活動等の監視による公害の防止	環境整備課	本事業は、騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁などの公害対策を実施することにより、市民の安全で健康的な生活環境を保全することを目的としている。	特定施設の設置及び特定建設作業の実施の届出の審査件数【件】	令和3年度目標値 49	令和4年度目標値 49	令和5年度目標値 45	遠賀川水系の水質検査(39地点)を年2回(9月、2月)実施した他、特定施設の設置及び特定建設作業の実施届出の審査を53件実施した。以上により、公害発生源の監視を行っている。	市内で事業活動を行っている各企業と協議を行い、協定締結を進めていく必要がある。									
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
								38	53												
							水質検査実施箇所数【箇所】	令和3年度目標値 39	令和4年度目標値 39	令和5年度目標値 39											
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
								39	39												
							3カ年実施計画			次年度以降の改善策											
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充			・市内で事業活動を行っている各企業と協議を行い、協定締結を進めていく。 ・市内工業団地周辺の騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁に関する現状を把握する必要がある。数年周期で工業団地ごとの測定計画を立案する必要がある。								
							基本目標III 循環型社会・脱炭素社会を実現する	4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進	ごみ発生の抑制(断る、減らす)	311-1			ペーパーレス化の推進	情報管理課	基幹系システム、内部情報系システム、インターネット系システム等の電算業務全般の保守管理を適切に行うとともに、システムに関する各種相談等への対応やペーパーレス化の推進等による業務の効率化に繋がる手段の提供等により、高度なセキュリティを保ち、かつ、職員がより働きやすくなる環境の構築を目的とする。	ペーパーレス会議・研修の実施回数【回】	令和3年度目標値 30	令和4年度目標値 25	令和5年度目標値 100	・大きなネットワーク障害等は発生しなかった。 ・Web会議用の無線アクセスポイントの増設を行った。職員同士や外部との打ち合わせをWeb会議にて行うことで、電子データによる資料の共有が行いやすい環境を構築した。	・ネットワーク保守業者との情報共有を密に行い、各種システムの円滑な運用および強固なセキュリティの維持に努める。 ・無線端末やWeb会議端末利用によるペーパーレス化や業務効率の向上を周知し、印刷枚数の軽減に努める。
																	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)			
	23	89																			
プリンタの印刷枚数【枚】	令和3年度目標値 8,315,601	令和4年度目標値 9,198,037	令和5年度目標値 6,976,557																		
	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)																			
	9,669,753	7,751,730																			
3カ年実施計画			次年度以降の改善策																		
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・他の自治体で発生した情報セキュリティインシデント等の情報収集を行なう。 ・支所などでペーパーレスなど業務の効率化が見込まれる会議室等の場所内部情報系やWeb会議用のアクセスポイント増設を検討する。																	
ごみ発生の抑制(断る、減らす)	311-2	生ごみ処理機に関する普及・啓発	環境整備課	エコ工場の協力のもと、生ごみ処理機「生ごみキエーロ」の作成教室を開催し、各世帯における生ごみ処理機の普及を図り、ごみ発生量の削減に努める。	「生ごみキエーロ」作製教室開催数【回】	令和3年度目標値 -					令和4年度目標値 7	令和5年度目標値 7				令和5年1月末時点において、生ごみ処理機作成教室を5回開催済みであり、53名の参加者を得られた。2月・3月に各1回ずつ開催し、計7回/年開催予定。 作業用スペース、材料費等の都合上、参加上限を10組までとしているが、既に2月・3月開催分も参加上限まで予約申込を受付済みであり、多くの参加者が見込まれる。	世帯員数によっては、作成する生ごみ処理機のサイズが小さく、実用に適さないケースが見受けられる。サイズの大きい処理機は材料購入には、別途予算措置が必要となる。				
						令和3年度実績値					令和4年度実績値(1月末時点)										
						-	5														
					「生ごみキエーロ」作製教室参加人数【回】	令和3年度目標値 -	令和4年度目標値 70	令和5年度目標値 70													
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)														
						-	53														
					3カ年実施計画			次年度以降の改善策													
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	材料費予算の増額、または材料費分を指定管理料に上乘せし、材料の融通を指定管理料内で行ってもらう。												
					資源回収・再資源化の推進	312-1	資源回収団体奨励補助金の交付	環境整備課	ごみの減量化及び資源化を推進するとともに、市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、事前に登録した資源回収団体に対し回収量に応じた補助金を交付するもの。	資源回収団体の新規登録数【団体】	令和3年度目標値 8	令和4年度目標値 8	令和5年度目標値 5	新型コロナウイルス感染症の拡大により、資源回収活動に影響を与えていることが予測される中、今年度新たに3団体が新規登録後活動を開始し、ごみの減量化、再資源化に寄与している。 2年以上活動を行っていない団体への活動再開の案内や、市報、ホームページによる広報の結果、資源回収率は増加した。	更なるごみの減量化(資源化)率向上を図るには、1つでも多くの団体に活動を行ってもらうことや、1団体当たりの回収量を増加させる必要があるため、広報活動を強化するとともに、活動していない団体に対し、活動再開を促していく。						
											令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)									
	5	3																			
3カ年実施計画			次年度以降の改善策																		
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	ゴミの減量化(資源化)率の向上を図るため、広報活動を行う他、2年以上活動していない団体に対し、活動再開の依頼を呼びかける。																	
再利用・再資源化の推進	312-2	ペットボトルキャップ回収事業の促進	環境整備課	限りある資源を循環させるごみゼロの社会づくりを目標に循環型社会を推進する取組として、市民、小中学校、企業等の協力によりペットボトルキャップを回収し、ごみの減量化を図り、再生プラスチック製品(プランター、定規等)に再利用する。						ペットボトルキャップ回収場所増設【箇所】	令和3年度目標値 30	令和4年度目標値 30	令和5年度目標値 40			ペットボトルキャップ回収事業について、市報やホームページへ掲載し、事業内容の周知・啓発を行った。目標値を上回る良い結果となった。	回収場所増設だけでなく、1箇所ごとの回収量の増加を促す必要がある。				
											令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)									
											30	37									
										3カ年実施計画			次年度以降の改善策								
										事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充					市報、環境イベント等を活用し、ペットボトルキャップ回収事業について周知を行う。			

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)							
							指標名称【単位】	目標値及び実績値										
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	4R(リデュース、リデュース、リユース、リサイクル)の推進	再利用・再資源化の推進	312-3	フリーマーケット等の開催による再利用(リユース)の促進	環境整備課	エコ工房まつりにおいて、フリーマーケットを開催するほか、定期的に子ども服交換会等の再利用を促進する事業を実施する。	エコ工房まつりへの来客数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	今年度においては、コロナ禍の影響により令和2年～3年度は開催を中止していた「エコ工房まつり」を2年ぶりに開催した。感染症対策のため、コロナ禍以前には出店していた飲食物販売等の出店を規制する等、規模縮小する形での実施となったが、36組のフリーマーケット出店、413名の参加者を得た。子ども服交換会については、例年どおり開催してはいるものの、コロナ禍以降の衛生意識の高まりの影響か、参加者数は減少している。	2年ぶりの開催であったことや、規模縮小の影響により、コロナ禍以前の開催時と比較すると、参加者数は減少している。イベントへの集客が課題。						
								700	700	700								
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)									
								0	413									
								子ども服交換会実施回数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値			令和5年度目標値					
									20	20			20					
							子ども服交換会参加人数【人】	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)									
								17	13									
							子ども服交換会参加人数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値								
								200	200	200								
	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)																
	95	88																
3ヵ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策							
事業の方向性(維持・拡充・縮小)							拡充	拡充	拡充	イベント周知の強化、継続的なイベント実施による集客の強化								
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	省エネ活動、再生可能エネルギー導入の推進	国民運動「COOL CHOICE」の推進	321-1	市民向け啓発事業の開催による省エネ行動の促進	環境整備課	「緑のカーテンエコプロジェクト」でのグリーンカーテンの普及、「打ち水大作戦」や「クールシェアいづか」等の地球温暖化防止に関する各種啓発事業を実施することにより、市民の温暖化防止活動への意識向上を図る。	啓発事業開催数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	グリーンカーテン普及を目的とした「緑のカーテンエコプロジェクト」、各家庭での打ち水普及を目的とした「うちの打ち水」、太陽光電池を用いたランプ工作教室による再生エネ普及を目的とした「エコLightナイト」を開催した。また、今年度は新たに「みんなの健康・福祉のつどい」に出展。自転車による発電体験コーナーを設け、省エネ意識の普及啓発に取り組んだ。 ・緑のカーテンエコプロジェクト：107名参加 ・うちの打ち水：17名参加(庁舎内実施のみ) ・エコLightナイト：72名参加 ・「みんなの健康・福祉のつどい」出展：約100名参加	担当課主催イベント(「緑のカーテンエコプロジェクト」、「うちの打ち水」、「エコLightナイト」)は費用対効果(人件費負担に対する参加者数)が、他イベントへの出展と比較して低い。						
								5	5	4								
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)									
								3	4									
								啓発事業参加者数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値			令和5年度目標値					
									700	700			300					
				令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)													
				169	296													
			3ヵ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策				
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)							維持	維持	維持	・新規啓発事業の立案、情報提供・啓発の継続 ・既存イベントの他事業への出展の形に切替					
321-2	市職員の省エネ行動促進	環境整備課	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進の一環として、市職員の省エネに関する取組状況調査を実施し、市職員の省エネ行動を促す。	職員の取組状況調査実施回数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	年度当初に優先的取組項目として省エネに関する取組の15項目を設定し、全職員に取組の実施を促した。また、設定した項目の取組状況について12月に調査を行い、行動について振り返ることで、省エネに関する取組の意識付けに繋げた。	取組項目のうち、環境配慮物品の購入については、3割近くの職員が未実施(特に意識していなかった)と回答しており、他の項目と比較して、取組状況が芳しくない。購入している製品が環境配慮物品であることを認知していない可能性も高く、庁内におけるグリーン購入の普及啓発を進める必要がある。									
					1	1	1											
					令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
					1	1												
					3ヵ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策		
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)							維持	維持	維持	優先的取組項目の更新、庁内掲示板を用いた情報提供・啓発の実施			
322-1	家庭や事業所、学校などへの省エネ・再生可能エネルギー導入促進	環境整備課	公共施設における再生可能エネルギー利用の促進	公共施設等における太陽光パネル設置件数【件】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	今年度においては、幸袋交流センターの新設の際に太陽光発電設備(10kw)の導入を実施。 施設更新時のみの導入となっており、既存施設における導入可能性調査の検討の余地有。										
					33	34	34											
					令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
					33	34												
					3ヵ年実施計画							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策		
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)							維持	維持	維持	公共施設の更新計画に基づく施設更新・新設時において、費用対効果やエネルギー効率、補助金の活用等を考慮しながら、太陽光発電設備の設置を検討する。また、補助金等を活用し、既存施設を対象とした導入可能性調査の実施を検討。			

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)								
							指標名称【単位】	目標値及び実績値											
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	省エネ活動、再生可能エネルギー導入の推進	家庭や事業所、学校などへの省エネ・再生可能エネ設備導入促進	3 2 2 - 2	再生可能エネルギー導入目標の策定	環境整備課	2030年までの温室効果ガス排出量46%減、2050年度までの脱炭素化の目標実現に向け、効率的に再生可能エネルギーの導入を進めるため、削減目標の達成に必要な再生エネ導入目標、及び導入目標を実現するための施策等を策定し、『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』に反映させる。導入目標等の策定にあたっては、環境省の補助事業『地域脱炭素実現に向けた再生エネの最大限導入のための計画づくり支援事業』を活用するほか、導入目標等の策定支援業務について、近畿大学産業理工学部へ委託し、さらなる官学の連携推進を図る。 ※令和5年度：再生エネ導入目標等の策定 令和6年度：『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』への反映	再生可能エネルギー導入目標等の策定【式】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	-	-							
								-	-	1									
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
								-	-										
							『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』への反映【式】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値									
								-	-	0									
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
								-	-										
										3カ年実施計画			次年度以降の改善策						
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	廃止			-						
地産地消の推進(フードマイレージの低減)	3 2 3 - 1	地産地消の推進	農林振興課	飯塚市地産地消推進協議会へ補助金を交付し、地産地消拡大を推進する活動を支援するもの。	各種イベントでの地元農産物直売、PR【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	新型コロナウイルスの影響で、PRを予定していたイベント等の中止により、PRの機会一部得られなかった。	イベント中止等に対応した、新たなPRの場の検討。									
						5	5	5											
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
						1	4												
								3カ年実施計画			次年度以降の改善策								
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持			新型コロナウイルス等の影響を受けないPR方法の検討を行う。								
					地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく対策の推進	3 2 4 - 1	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	環境整備課			一事業所として、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)、第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)等に基づき、市施設でのエネルギー使用量の削減及びCO2排出量の削減に向けた取組を実施する。	地球温暖化防止対策実行計画(事務事業編)における温室効果ガス総排出量【t-CO2】	令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	第3次飯塚市環境基本計画の策定に伴い、地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改訂を行った。(削減目標：基準年度比40%⇒55.1%) 市施設の運営、公共事業に伴う温室効果ガス排出量については、令和2年度と比較して微増している。【補足資料有】	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に掲げる目標は達成しているものの、基準年度からの削減量はクリーンセンター等の施設の一部事務組合への移管によるものが大きいため、引き続き省エネに関する取組を進める必要がある。		
													18,944	14,179	14,179				
													令和2年度実績値	令和3年度実績値					
													13,499	14,049					
			3カ年実施計画						次年度以降の改善策										
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における職員一人ひとり及び施設所管課への温室効果ガス排出量削減目標達成に向けた啓発活動の強化。															
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進(重点施策)	情報発信手段の多様化	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 1	市公式ホームページの充実					情報管理課	行政に関わる情報を各課が作成し、ホームページ管理者(情報発信係)が内容を確認後、インターネットを経由して対外的に情報を発信している。また、閲覧者に適切な情報を発信するために、サイトの各種コンテンツの管理、サイトの充実並びに端末のセキュリティ確保等を行っている。		ホームページアクセス数	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値			トップページのバナー画像を定期的に変更を行い、市民の方が注目する情報に簡単にたどり着けるように誘導した。各課の相談に応じて、ページの作成支援を行ったり、こちらから各課に積極的にアドバイスを行うなど、市民の方が見やすいと感じるページ構築・管理を行った。	ホームページの更新に職員の負担がかかっていること、ホームページの容量が97%に達するなど不要ページの精査を行うことが必要。
													8,000,000	6,400,000	6,700,000				
													令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
													9,144,073	5,583,330					
								3カ年実施計画			次年度以降の改善策								
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充			SNS掲載依頼があった場合にホームページへの誘導をすることで、アクセス件数の増加を図るとともに、市民の方により詳細な情報を届けられるように努める。人員を増加しホームページのリニューアルが必要かも含めホームページの管理・点検を行う。外部機関にホームページの閲覧チェックを行ってもらい、問題点や課題を抽出する作業を行う。								
					ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 1	AI自動応答サービスの導入推進	業務改善・DX推進課			AI自動応答サービス(AIチャットボット)は、会話情報をデータベースに蓄積させておくことで、会話をロボットが代行してくれるプログラムである。スマートフォン、パソコン、LINEから市役所に問い合わせを行う市民に対して、FAQ登録データを整備することで、24時間年中無休問い合わせへの回答を行うもの。最終的には、「職員の電話対応時間の削減」、「24時間年中無休対応による市民サービスの向上」、「電話が接続できない課題に対する解決」を図るもの。	FAQ登録数【件】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	自動応答の基礎となるFAQデータベースの整備を毎月継続することで、高い正答率を維持することができた。また、ログ精査にかかる運用方法の見直しを行うことで、職員の負担を半減することができた。	自動応答の基礎となるFAQデータベースの整備を毎月継続することで、高い正答率を維持することができた。また、ログ精査にかかる運用方法の見直しを行うことで、職員の負担を半減することができた。		
													2,000	3,000	3,500				
													令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
													2,453	2,507					
			3カ年実施計画						次年度以降の改善策										
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	検討中	検討中	現システムの提供事業者と協議を行うことで、更なる運用方法の見直しを行う余地がないか検討する。特にFAQの新規登録に2週間を要する点については協議が必要である。ログ精査に係る職員負担の大きさやFAQの新規登録に要する時間が多大であるという本市チャットボットの課題について、現システムでの対応が難しい場合には、システム変更を含めた抜本的な見直しを検討する必要がある。															

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)								
							指標名称【単位】	目標値及び実績値											
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの表現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	情報発信手段の多様化	ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 2	小中学校における情報機器の導入推進	学校教育課	学校の通信インフラや情報機器の維持管理等を行うことで、円滑かつ効率的な情報教育及び学校業務のための環境を整備する。	各学校での定期メンテナンス回数【回】	令和3年度目標値 29	令和4年度目標値 29	令和5年度目標値 29	保守業者・ICT研究指導員とともに各学校を訪問し、通信障害やトラブルの情報を蓄積し、ネットワークの安定稼働を確保した。	文部科学省の方針を踏まえパソコン教室の在り方について検討する必要がある。 なお、文部科学省は、1人の児童生徒が効率的に複数の端末を使う学習など、1人1台端末では処理が難しい学習を行う場合にパソコン教室を活用するなど、生徒が主体的に選べるような環境を整えることが重要との見解を示している。							
								令和3年度実績値 29	令和4年度実績値(1月末時点) 29										
							学校での障害、問い合わせ等に対する初動対応率	令和3年度目標値 100	令和4年度目標値 100	令和5年度目標値 100									
								令和3年度実績値 100	令和4年度実績値(1月末時点) 100										
								100	100										
							3ヵ年実施計画			次年度以降の改善策									
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持			GIGAスクール構想を踏まえた成果や課題について検証を行う。 パソコン教室の利用状況や学校の要望等を把握する。						
							3ヵ年実施計画												
							次年度以降の改善策												
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)												
多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	自治会・公民館の活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 1	中央公民館の利用促進	生涯学習課	市民グループ・団体等が公民館で学習やスポーツ及び集會等の自主的な活動が行うことができるよう、社会教育・生涯学習の拠点として快適な学習空間の提供や機材の貸出等を行う。	公民館利用者数【人】	令和3年度目標値 82,000	令和4年度目標値 82,000	令和5年度目標値 82,000	令和4年度は、コロナウイルスに係る貸館の人数制限を10月から撤廃し、リフレッシュコーナーも利用を再開したため、昨年度と比較し利用しやすい施設整備ができた。	施設の老朽化に伴い、空調などに不調が起きている。早急に修繕し、より利用しやすい施設にする必要がある。								
							令和3年度実績値 39,955	令和4年度実績値(1月末時点) 52,625											
						3ヵ年実施計画			次年度以降の改善策										
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持			不調が起きている空調等については、周知を徹底する。また、引き続きコロナ対策として利用者名簿の作成を行っていただく。							
						3ヵ年実施計画													
						次年度以降の改善策													
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)													
						自治会・公民館の活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 2	交流センター等を活用した市民サークル活動の促進	生涯学習課			学習者がグループを形成し、学習者相互の人間関係を構築しながら継続して学習し、その学習成果を地域に還元することでまちづくりにつなげていくことを目的とする。	サークル数【サークル】	令和3年度目標値 260	令和4年度目標値 260	令和5年度目標値 260	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、一時中断するサークルもあった。しかしながら、昨年度よりは一年をとおしてサークル活動が継続できた。 また、本年度はサークル生の怪我や病気が相次ぎ、公民館総合保障制度の対象となる案件があったため、注意喚起や保障の周知を行う。	サークル開設について、新規開設を求める声が多くあったため、引き続き多くの媒体でサークルの広報活動を行う。 また、本年度はサークル生の怪我や病気が相次ぎ、公民館総合保障制度の対象となる案件があったため、注意喚起や保障の周知を行う。	
														令和3年度実績値 228	令和4年度実績値(1月末時点) 217				
													サークル受講生【人】	令和3年度目標値 3,000	令和4年度目標値 3,000	令和5年度目標値 3,000			
	令和3年度実績値 2,574	令和4年度実績値(1月末時点) 2,479																	
3ヵ年実施計画			次年度以降の改善策																
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	サークル開講式や、代表者会議で怪我に関する注意喚起と公民館総合保障制度の周知を行い、安全なサークル活動を行っていただく。															
3ヵ年実施計画																			
次年度以降の改善策																			
事業の方向性(維持・拡充・縮小)																			
まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	4 2 1 - 3	まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	まちづくり推進課	まちづくり協議会の組織活性化及び地域の課題を地域で解決するような活動の推進を図ることを目的として、まちづくりに関する事業の計画作成や団体間の連携、協力に関する経費について「飯塚市まちづくり協議会補助金交付要綱」に沿った補助金の交付、及び人的支援を行う。	補助金の交付額【千円】					令和3年度目標値 33,107	令和4年度目標値 33,291		令和5年度目標値 35,514	新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの事業を中止せざるを得ない中、事業中止に伴う補助金の使途については、柔軟に対応することとし、コロナ禍において地域活動を停滞させないための財源として活用することができた。	前年度からのコロナ禍の影響を受け、人を集める事業について、軒並み中止せざるを得ない状況となった。次年度は、新しい生活様式に対応した事業を検討し、活動を継続していけるよう支援する必要がある。				
						令和3年度実績値 33,228	令和4年度実績値(1月末時点) 32,916												
					まちづくり協議会の自立(指定管理者制度の導入)【協議会】	令和3年度目標値 0	令和4年度目標値 0	令和5年度目標値 0											
						令和3年度実績値 0	令和4年度実績値(1月末時点) 0												
					3ヵ年実施計画			次年度以降の改善策											
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・新しい生活様式に対応した事業を検討し、コロナ禍において活動を継続していけるよう支援を行う。 ・まちづくり協議会の自主財源確保に向けた事業の検討、実施を推進するとともに、市の事業の一部受託が出来る組織となるよう、法人化に向けた検討、サポートを行う。										
					3ヵ年実施計画														
					次年度以降の改善策														
					事業の方向性(維持・拡充・縮小)														

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)		
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	自治会・公民館の活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 4	自治会への加入促進	まちづくり推進課	協働のまちづくりの根幹をなす自治会の加入を促進するために下記の事業を実施している。 転入転居者に対し、市役所窓口で自治会に関する説明を行い訪問承諾書の記入をお願いしている。訪問承諾書は、自治会長の方に渡し、その後自治会による加入促進が行われる。	自治会加入率【%】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	休日窓口開設時における自治会加入促進キャンペーンを実施。自治会に加入促進のポスター、のぼり旗等を配付。まちづくり協議会や市のイベントにブースを設置して自治会加入のお願いに関する啓発グッズを配付。自治会連合会専門部会と協働して防犯灯ステッカーや横断幕を製作し掲示予定。	転入転居者向けの啓発を検討する必要がある。市民課と連携しつつ、当該も主体的に転入者に向けて加入促進を実施する必要がある。	
								72	72	53			
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)				
								57	53				
								令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値			
								20	20	20			
		令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
		0	4										
		3カ年実施計画			次年度以降の改善策								
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・転入転居者向けの啓発 ・協働のまちづくりに関する啓発事業を広告会社等に委託し、自治会の役割や重要性について周知する。							
		多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 1	環境に関する市民ワークショップの開催	環境整備課	広く市民の参加を募る市民ワークショップを開催し、環境課題や課題解決のための具体的取組について議論し、実行する機会を提供することにより、本市の環境施策の推進において市民参加によるマンパワーの確保、アイデアの創出を図るとともに、参加者が環境問題を「自分ごと」として考えるための意識を醸成し、市民が自発的に環境課題の解決に取り組むための土壌づくりを行う。	ワークショップの開催回数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	1月末時点において、3回の市民ワークショップを開催し、長年環境保全活動に携わってきた世代、現在自治会やまちづくり協議会等で活動している世代、地元大学に通う学生など、様々な世代の参加者(計73名)を得ることが出来、意見交換の場の創出を行った。	ワークショップの企画・進行等を全て市事務局が行った場合、事業規模に対して業務負担が過大であることから、ファシリテーターや講師等を外注する必要がある。
									-	4	4		
令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
-	3												
令和3年度目標値	令和4年度目標値								令和5年度目標値				
-	80								80				
令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
-	73												
3カ年実施計画				次年度以降の改善策									
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持			維持	維持	・ファシリテーター、講師の外注(講師謝礼金予算の執行) ・イベント周知の強化							
多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援			4 2 2 - 2	市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出	まちづくり推進課	市民の自主的で公益的な活動を支援するための市民交流プラザを設置・運営する。平成30年度から市直営に完全移行し、市民活動の場の提供や各種情報提供等を行っている。	イベント情報誌の発行【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	コロナ禍の影響で利用者数、団体数ともに前年度に比べ減少した。	コロナ禍のため市民活動団体交流事業の実施が開催できなかった。次年度以降、新しい形の事業を展開する必要がある。また、県内類似施設から得た情報を施設運営に取り入れ、さらなる施設の有効活用を図るとともに、ホームページ等を活用した情報発信を積極的に行う必要がある。
									12	12	12		
		令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
		12	10										
		令和3年度目標値	令和4年度目標値						令和5年度目標値				
		11,000	8,800						6,000				
		令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
		4,831	4,600										
		3カ年実施計画			次年度以降の改善策								
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	福岡県NP0・ボランティアセンターや県内類似施設との情報共有や意見交換をさらに充実させ、施設運営に取り入れる。							
		環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 1	ワークショップ開催によるネットワーク形成支援	環境整備課	広く市民を対象に、環境をテーマとするワークショップを開催し、各環境団体にとってのネットワークを広げるための機会提供を行う。	参加団体数【団体】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	環境保全活動に取り組んでいる地元NPO法人やまちづくり協議会、自治会のほか、地元企業や大学等、計11の団体に属する市民が参加し、意見交換の機会を創出できた。	市報やホームページ掲載による公募のみだと、団体からの参加者を得ることが難しく、直接的な声掛けが求められる。	
								-	10	10			
令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
-	11												
令和3年度目標値	令和4年度目標値							令和5年度目標値					
60	60							35					
令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)												
11	36												
3カ年実施計画			次年度以降の改善策										
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持		維持	維持	団体への直接的な声掛けの実施								
環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 2		エコスタいいづか開催による情報交換の機会提供	環境整備課	市民や学校、環境団体等が取り組んでいる環境保全活動について、情報共有を行う機会提供を行い、市民や団体間のネットワーク形成を図る。	協力団体数【団体】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	計36団体の協力を得て、環境保全に関する情報交換機会の提供を図った。 ・環境保全活動発表：11団体 ・工作・体験・展示、物販の出展：17団体 ・後援：2団体 ・協賛：5団体 ・運営協力：1団体	会場スペースの都合上、活動発表や出展に関しては今回の団体数が限界に見える。協力団体同士が積極的、相互的な意見交換を行う場(反省会・情報交換会等)を設けることができていない。		
							60	60	35				
		令和3年度実績値					令和4年度実績値(1月末時点)						
		11					36						
		令和3年度目標値					令和4年度目標値	令和5年度目標値					
		60					60	35					
	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)											
	11	36											
	3カ年実施計画			次年度以降の改善策									
	事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	協力団体が参加する、開催後の反省会・情報交換会等の実施。								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値				
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティーセンター、公民館を活用した講座、セミナー、イベントの開催	4 3 1 - 1	コスモス大学における講座開催	生涯学習課	高齢者に学習の機会を提供し、健康で充実した生きがいがづくりと積極的な社会参加を促し、教養の向上を図るとともに、習得した知識や技術などを人材派遣事業やボランティア活動を通して、地域に還元できる人材の育成を目指す。	受講者数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一般教養コースは中止とし、新入生の受入れはできなかった。また、在校生についても復習を実施したが、進級や卒業するに至らなかった。今年度については在校生の選択科目コースのみ開講し、一年を通して事業を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症対策のため、一般教養コースや大学祭等の各行事は中止とした。来年度以降は、部分的に一般教養コースや各事業の再開を検討する。
								175	175	175		
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)			
								119	122			
							年間実施講座数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値		
								360	360	360		
			令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)								
			96	240								
		3か年実施計画										
		計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策						
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、選択科目コースのみ実施した。来年度は、部分的に一般教養コースの再開や、各事業の実施を検討する。						
		エコ工房、コミュニティーセンター、公民館を活用した講座、セミナー、イベントの開催	4 3 1 - 2	エコ工房の利用促進	環境整備課	環境保全に関する情報発信・学習体験の場の提供を目的とした、飯塚市が所有する環境教育施設(飯塚市リサイクルプラザ工房棟)の管理運営事業。施設の管理運営を指定管理者に委託している。	各種環境教室等の開催数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	エコ工房内で行う各種環境教室のほか、小学校や児童館における出前講座等、1月末時点において128回の啓発活動を実施し、1,009名の参加があった。感染症対策のため、特に屋内における環境教室については、参加人数を制限しながら実施している。イベントについては、「カブトムシ相撲大会」、「エコ工房まつり」を2年ぶりに開催。感染症対策として参加人数制限や規模縮小を行いながらの実施となったが、延べ606名の参加があった。	調理器具を利用する教室の開催中止や、人数制限、規模縮小等により、環境教室、各イベントともに、コロナ禍以前と比較すると参加者数が減少している。
								213	188	176		
								令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)			
								123	128			
各種環境教室参加者数【人】	令和3年度目標値						令和4年度目標値	令和5年度目標値				
	1,630						1,880	1,760				
	令和3年度実績値						令和4年度実績値(1月末時点)					
	1,042						1,009					
イベントの開催数【回】	令和3年度目標値						令和4年度目標値	令和5年度目標値				
	24						24	24				
	令和3年度実績値						令和4年度実績値(1月末時点)					
	17						15					
イベント参加者数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値									
	1,400	1,400	1,400									
	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
	95	606										
3か年実施計画												
計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策								
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	イベント・環境教室の周知強化、継続的な開催による集客の強化、アウトリーチ活動(出前講座等)の強化								
専門家による自然観察会の開催	4 3 2 - 1	自然体験プログラム「いいねん！」の開催	環境整備課	地元専門家の協力のもと、主に小学生とその親世代を対象とした、自然体験プログラムを開催し、自然環境保護意識の醸成を図る。	自然体験プログラム開催回数【回】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値	令和5年1月末時点において、自然体験プログラム「いいねん！」を18回開催し、189名の市民が参加した。(22回/年開催予定。うち2回は参加申込なしにより中止、2回は3月に開催予定)従前では、小学生及びその親世代を対象としていたが、昨年度より未就学児及びその親世代を対象とした自然体験プログラム「おさんぽ・いいねん！」を開催し、幼少期から自然と触れ合う機会の提供を行っている。	自然体験プログラムにおいて現地指導(昆虫の捕獲、動植物の解説等)を行う講師は、開催前の現地確認、観察会ルートの設定、当日資料の作成など、当日の現地指導以外の事前準備に多くの時間を費やしており、講師謝礼金1万円/回に対し、負担が過大となっている。		
						22	22	22				
						令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)					
						15	18					
					自然体験プログラム参加者数【人】	令和3年度目標値	令和4年度目標値	令和5年度目標値				
						290	300	300				
	令和3年度実績値	令和4年度実績値(1月末時点)										
	159	189										
3か年実施計画												
計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策								
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・講師謝礼金単価の引き上げの検討 ・イベント周知の強化								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和4年度成果(1月末時点)	令和4年度課題(1月末時点)	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値				
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組【施策】 環境教育・学習の充実 教育・協働・連携の推進【重点】	環境教育・学習の充実	小中学校における環境教育の推進	4 3 3 - 1	環境学習教材の配付	環境整備課	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律に定める基本理念に則り、環境保全の意欲の増進を目的とした環境教育事業や、環境教育の支援を行う。	環境副読本配付回数【回】	令和3年度目標値 1	令和4年度目標値 1	令和5年度目標値 1	環境月間(6月)に、市立小学校4年生に向けて、環境副読本「みんなの環境」(福岡県作成)の配付を行った。令和2年度より、全小中学校にタブレット端末が導入されているため、電子データ媒体で配付を行った。	市内における副読本の活用状況について把握を行っていない。
								令和3年度実績値 1	令和4年度実績値(1月末時点) 1			
							3ヵ年実施計画					
							計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	配付した環境副読本の活用状況に関するアンケート調査等の実施を検討					
			4 3 3 - 2	小中学校における環境保全活動の推進	環境整備課	身近な環境問題や活動に関心をもってもらうため、エコスタいっぴか(環境教育推進大会)において、市民・団体等が日頃行っている環境保全活動を広く周知するとともに、様々な体験を通して環境保全活動を推進させる。	エコスタいっぴかへの来場者数【人】	令和3年度目標値 800	令和4年度目標値 800	令和5年度目標値 800	令和5年2月11日に開催するエコスタいっぴかにおいて、計8校の小中学校が日ごろから取り組んでいる環境保全活動について、パネル展示による発表を行った。 イベント当日は、延1,100名(関係者含む)が来場し、日ごろから取り組んでいる環境保全活動について、広く周知を行った。	代表校長会を通じて、市内小中学校に対して環境保全活動発表の募集を行っているが、自発的に参加意欲を表明する学校が少なく、直接声掛けを行っている。 会場スペースの都合上、今回の参加団体数が最大限と思われる。
								令和3年度実績値 119	令和4年度実績値 1,100			
							活動発表学校数【校】	令和3年度目標値 10	令和4年度目標値 10	令和5年度目標値 10		
								令和3年度実績値 11	令和4年度実績値 8			
			3ヵ年実施計画									
計画年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	次年度以降の改善策								
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	各小中学校にイベント内容がより詳細に伝わるよう、募集時の資料を充実させる。								

第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
令和4年度 温室効果ガス削減に向けた取組について

	取組内容	項目
1	会議室等を利用する際に、冷暖房の設定温度を運転基準（夏季 28℃、冬季 19℃）のとおりに設定し、使用終了時は空調を停止して退出する。	★
2	ブラインドやカーテンの開閉によって、日射の調整を実施する。	★
3	体温調整の一環として夏は冷たいもの、冬は暖かいものを飲み、冷暖房の適切な使用のために、各自で出来る省エネルギー行動を実践する。	★
4	冬季以外において、更衣室や給湯室等での温水の利用を控える。また、使用する際は、使用目的に適した温度に調整する。	☆
5	細分化された照明スイッチを活用し、残業時は不必要な照明を消灯する。 【参考】 1個の照明スイッチで大空間の照明を点灯する場合、不必要な範囲の照明も点灯され、その分の照明エネルギーが消費されます。一方、細分化された照明スイッチを活用すると必要なエリアのみの点灯が可能になるため、照明の電気使用量を削減することが可能になります。	■
6	廊下等の打ち合わせスペースにおいて、自然光で支障がない場合に照明の使用を控える。	■
7	階段の利用を心がけ、エレベーターの利用では「3 UP 4 DOWN」を実施する。 ※個人の体調や荷物の量により利用を判断。	□
8	空調機稼働にかかる負荷を減らすため、定期的に清掃を行う。または、空調機器周辺に熱がこもらないように事務室・会議室内を整理・整頓する。	★
9	近距離の用務では、徒歩で移動する。	○
10	公用車を運転する際はエコドライブ（ふんわりアクセル・無駄な減加速をしない）に努め、荷物の搬入時にはアイドリングストップを行う。 【参考】 「ふんわりアクセル」とは、穏やかにアクセルを踏んで発進すること（最初の5秒で時速20km程度が目安）で、実行することで燃費が10%程改善と言われています。	○
11	文書や資料を印刷する際には可能な限り両面印刷を行う。また、庁内における文書の授受について、庁内LAN及び全庁共有フォルダの利活用により紙使用量の削減を行う。	◆
12	マイ〇〇（マイバック、マイボトル、マイ箸、マイ弁当）を実施する。 【参考】 マイ〇〇運動は、使い捨て容器ごみ等の削減から「ごみを出さない」ことに繋がります。排出されてしまったごみをごみ処理場で処理する際に、地球温暖化の原因となる温室効果ガスが排出されるため、ごみを減らすことは地球温暖化対策の一つとなります。	◇
13	消耗品は詰め替えタイプを使用し、購入する際は簡易包装の物を選択したり、買い物袋を断る。	◇
14	不要品や一度利用した物について、再利用先や再利用方法を検討し、資源の有効活用に取り組む。	▲
15	商品を購入する際は、環境配慮物品であることや環境負荷が出来るだけ少ない環境配慮製品を購入する。	△

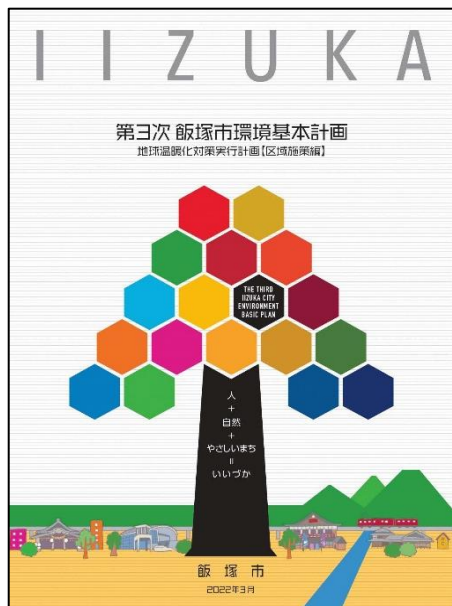
【項目】

★：空調 ☆：給排水・給湯 ■：照明 □：昇降機 ●：事務機器 ○：公用車
◆：省資源の推進 ◇：廃棄物の排出抑制 ▲：リサイクルの促進 △：グリーン購入の推進

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No.	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			【参考】令和2年度成果	【参考】令和2年度課題		
							指標名称[単位]	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-1	森林環境譲与税を活用した放置竹林の整備	農林振興課	森林整備や木材の利用促進、普及啓発等を行うことを目的に創設された森林環境譲与税を活用し、市内の放置竹林の整備を行う。 森林経営管理法に基づく適切な森林の経営管理を促し、森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、飯塚市が経営管理の委託を受け適切な管理をするための事前準備として、未整備森林の所有者への意向調査を実施する。	竹林の整備面積【ha】	令和2年度目標値 0.6	令和3年度目標値 1.5	令和4年度目標値 0.06	意向調査が進み、森林所有者がこれから森林をどうしていくかの意見を収集することができた。	意向調査の準備に時間を要し、調査件数も多くこなすことができないため事業委託しているが、発注後所有者からの問い合わせがあり、他事業への影響もできているため、委託内容を検討し効率化をはかる余地はある。	
								令和2年度実績値	令和3年度実績値				
								0.34					
					令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	3か年実施計画					
				1000	1000	0							
				令和2年度実績値	令和3年度実績値								
					512								
				計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策					
				事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・市ホームページ等を活用し、制度の周知を実施する。 ・森林整備基金を活用し、他の補助事業で整備できない森林や放置竹林の整備を進める。					
		里山の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-2	荒廃森林の整備	農林振興課	平成30年度から令和9年度までの10か年で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある人工林で間伐等を実施し、公益的機能を長期的に発揮できる森林を目指すために福岡県森林環境税基金からの交付金(交付率10/10)を活用し実施するもの。	荒廃森林整備面積(単年度)【ha】	令和2年度目標値 174	令和3年度目標値 174	令和4年度目標値 174	森林所有者との協定が多く結べ、補助金の確保ができたため予定以上の成果を上げることができた。	補助金の追加要求では増額分の事業実施が秋以降となり、実施時間が十分にとれないことから、当初予算で可能な限り予算要求を行うことが必要である。
									令和2年度実績値	令和3年度実績値			
									99.75				
				令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	3か年実施計画						
	400			400	460								
	令和2年度実績値			令和3年度実績値									
				417									
	計画年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策						
	事業の方向性(維持・拡充・縮小)			拡充	拡充	拡充	荒廃森林整備の協定締結に向けて、森林所有者と協議し整備可能な森林の確保を行うとともに、早期発注を行い整備期間を確保する。						
里山の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-3	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民等による里山林保全・竹林整備及び森林資源利用・森林機能強化等の共同活動への支援のため交付金を交付する。	保全された森林面積【ha】	令和2年度目標値 21.3	令和3年度目標値 24.1	令和4年度目標値 26.1	新規に1団体の設立支援を行い、事業実施につなげることができた。	基本的に1箇所3年間の活動が認められるが、4年目以降も活動を継続できるよう実施メニューを変更したり、別の活動場所を開拓するなど、団体に対しアドバイスを行っていく必要がある。また、令和3年度からは現在の事業を踏襲した後継事業が開始される予定となっており、各団体が後継事業も活動出来るように支援を行っていく。		
							令和2年度実績値	令和3年度実績値					
							21.3						
				令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	3か年実施計画						
			3	4	3								
			令和2年度実績値	令和3年度実績値									
				3									
			計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・令和3年度より国の事業内容が一部変更されたため、団体へのアドバイスを的確に行う必要がある。 ・新規団体設立に向けた支援。						
里山の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	112-1	竹粉砕機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	従来の施策では対応が追いつかないために里山の荒廃や放置竹林面積の増加等といった地域課題がある。その解決のために森林整備基金を活用し、竹粉砕機を導入し、市民団体や市民の方々に貸し出し、活動支援を行うことで里山林保全や竹林整備につなげようとするもの。	竹林伐採面積【ha】	令和2年度目標値 0.3	令和3年度目標値 1.2	令和4年度目標値 1.8	事業を実施することにより、放置されていた竹林の整備が進んだ。	貸し出し件数の増加に伴い、担当職員の負担も大きくなっており、他事業への影響も出ているため、貸し出し方法については委託を含め、更なる検討が必要である。また、貸し出し中の横転事故が発生したことから、操作講習会を複数回実施するなどの安全対策を講じる必要がある。		
							令和2年度実績値	令和3年度実績値					
							3,087						
				令和2年度目標値	令和3年度目標値	令和4年度目標値	3か年実施計画						
			15	15	108								
			令和2年度実績値	令和3年度実績値									
				13									
			計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・市ホームページ等での制度周知 ・竹粉砕機の追加導入						

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No.	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			【参考】令和2年度成果	【参考】令和2年度課題	
							指標名称(単位)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			
基本目標Ⅰ 豊かな自然と	森林や水源の保全	保安林の整備による自然災害の防災・減災	1 1 3 - 1	市有保安林の整備	農林振興課	市有保安林が水源涵養、災害防止等の指定されている目的を果たしていけるように適切な維持管理を行う。	下刈業務範囲【ha】	令和2年度目標値 1	令和3年度目標値 1	令和4年度目標値 2	県補助事業を活用し事業を実施したことにより、市費の支出を抑えることができた。	県補助事業が活用できなくなった場合、市単費での整備となるため、整備箇所を絞り実施することになる。
								令和2年度実績値	令和3年度実績値			
								1				
							生活環境保全林管理【ha】	令和2年度目標値 4	令和3年度目標値 4	令和4年度目標値 6		
								令和2年度実績値 3.65	令和3年度実績値			
		3か年実施計画										
		計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策						
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	市有保安林の整備計画を策定し、整備対象森林の調査を行うことなど検討していく。						
	基本目標Ⅰ 豊かな自然と	希少動植物・在来種の保護・保全	希少動植物・在来種に関する情報発信	1 2 1 - 1	環境整備課	市報等の媒体により、保護・保全すべき希少動植物、在来種の情報発信を行う。また、自然体験プログラムを開催し、参加者の動植物を保全する意識の醸成を図る。	市報(環境コラム)における外来生物に関する情報発信【回】	令和2年度目標値 -	令和3年度目標値 -	令和4年度目標値 1	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催予定であった自然体験プログラムの多くが中止となった。	希少生物に関する積極的な情報発信は行っていないため、市が有する媒体を利用した情報発信を行う必要がある。
								令和2年度実績値	令和3年度実績値			
							-	-				
自然体験プログラム参加者数【人】							令和2年度目標値 290	令和3年度目標値 300	令和4年度目標値 300			
							令和2年度実績値 166	令和3年度実績値				
		3か年実施計画										
		計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策						
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・自然体験プログラムに関する、市報・HP・SNS等での周知・広報 ・市報(環境コラム)を活用した情報発信						

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No.	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標				【参考】令和2年度成果	【参考】令和2年度課題
							指標名称【単位】	目標値及び実績値				
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	河川などの水質改善	汚水処理人口普及率の向上	211-1	公共下水道の整備	下水道課	下水道事業計画区域以外については、合併処理浄化槽の設置を推進しているが、大部分において生活雑排水が未処理の状態が放流され、河川の水質汚濁、生活環境悪化の一因となっている。この状況を改善するため、公共下水道の整備を早急に進めるものである。	整備率(対事業計画区域) ※整備面積/事業計画区域面積【%】	令和2年度目標値 84	令和3年度目標値 84	令和4年度目標値 84.3	全体計画面積の約57%の整備が完了し、約5.2万人の市民が公共下水道を利用している状況であり、事業の目的である市民の快適で衛生的な生活環境の整備と公共用水域の水質保全に寄与しているものとする。	将来人口を見据え、各汚水処理事業の整備エリア及び整備計画を見直す必要がある。
								令和2年度実績値 83.47	令和3年度実績値			
							3年実施計画					
							計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	・開発区域等を事前に把握し、要望の多い箇所を抽出し、計画的に効率的な箇所から実施する。 ・全体計画区域及び事業計画区域の変更については、水洗化意向調査結果等を踏まえ、整備費の費用対効果を検討し、区域の変更を作成する。					
			211-2	浄化槽設置整備事業補助金の交付	企業管理課	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境を保全するため、住宅用小型合併処理浄化槽の設置に対し、補助金を交付するもの。	浄化槽設置基数【基】	令和2年度目標値 220	令和3年度目標値 220	令和4年度目標値 220	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、浄化槽設置の工事数が減少したことから、補助金交付申請数も同様に減少したが、年度途中から徐々に申請件数を伸ばし、水質浄化の観点から、期待値に近い成果が得られたと考える。	国や県が単独浄化槽や汲み取りからの転換に力を入れ、転換に伴う撤去費や配管費の補助を開始したが、本市での導入が未着手で、市民への負担軽減が課題であると思われる。
								令和2年度実績値 165				
							浄化槽普及率 ※浄化槽設置人口/総人口【%】	令和2年度目標値 40	令和3年度目標値 40	令和4年度目標値 40		
								令和2年度実績値 32.9				
			3年実施計画									
			計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	次年度以降の改善策					
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・より多くの市民に活用していただき、生活排水の水質汚濁を防ぐため、問い合わせ等を受けた際には引き続き補助事業の案内をするほか、市報やホームページにて周知を行っていく。 ・浄化槽設置費補助金に加え、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの転換に関する補助を導入する。					
211-3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	個人が自宅の排水設備(水洗化)工事を行うにあたり、経済的負担を軽減させる制度を運用し、公共下水道の水洗化率の向上を図り河川の水質を向上させる。	公共下水道の水洗化率 ※水洗化人口/処理区域内人口【%】	令和2年度目標値 100	令和3年度目標値 100	令和4年度目標値 100	水洗化便所等改造費補助金 30件 水洗化率向上 0.66ポイント	令和3年度までの事業であり、下水道工事店等への周知も強化し、水洗化へつなげていく必要がある。			
					令和2年度実績値 89.64	令和3年度実績値						
				3年実施計画								
				計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			次年度以降の改善策		
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・水洗便所等改造費補助金の最終年度として、下水道排水設備工事店や市報・ホームページ等を活用し、更なる周知を図る。 ・令和3年度まで「水洗便所等改造費補助金」を交付し、水洗化率の向上を図る。								
211-4	農業集落排水処理施設の維持管理	農林振興課	生活環境の整備及び農業用水の水質保全を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するために設置された農業集落排水処理施設の管理・運営を行うもの。	加入戸数【戸】	令和2年度目標値 168	令和3年度目標値 169	令和4年度目標値 169	加入者に対して、農業集落排水処理施設の利用上の注意を配付する等して、適切な管理・運営を行うことができた。	未加入世帯については、高齢者で後継者のいない世帯がほとんどであり、今後の新規加入は厳しい状況にあるが、施設の健全な運営を図らなければならない。加入者数の状況によっては、今後使用料の引き上げも検討していく必要がある。			
					令和2年度実績値 115	令和3年度実績値						
				3年実施計画								
				計画年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			次年度以降の改善策		
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	・大規模な修繕等が発生しないよう日常のメンテナンスを心がけ維持経費の抑制を行う。 ・平成13年1月1日の一部供用開始から20年が経過し、今後は施設全般の維持補修が見込まれたため、令和元年度策定した最適整備構想に基づいた維持管理を行っていく必要がある。								



本事業で策定した再生可能エネルギー導入目標等については、『第3次飯塚市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画【区域施策編】）』への反映のため、同計画の改訂を行います。

同計画に定める温室効果ガス削減目標実現のための導入目標であることから、計画書P30「本市の削減目標値」に続く形で、12頁程度の追加挿入を行います。

(区域施策編)

基礎調査業務受託業者（近畿大学）より納品された調査報告書をもとに、下記の内容の要約版原稿を作成。

- I. 温室効果ガス、再エネ導入・温室効果ガス削減のための取組に関する基礎情報（3頁）
- II. 将来の温室効果ガス排出量（1頁）
- III. 地域の将来ビジョン・脱炭素シナリオ（4頁）
- IV. 再エネ・省エネ設備導入目標（2頁）
- V. 導入目標の実現に必要な政策及び指標、重要な施策に関する構想（2頁）

要約版原稿をもとに、既存計画書とデザインを統一した形で、印刷事業者が追加挿入分のページを作成、及び全体のページ繰りを調整。改訂後の計画書は電子データ+製本100部納品予定。



部門	2013年度		2018年度		2030年度	
	排出量 (千tCO ₂ e)	削減率 (%)	排出量 (千tCO ₂ e)	削減率 (%)	排出量 (千tCO ₂ e)	削減率 (%)
二酸化炭素	1,173.0		841.1	▲28.3	626.9	▲46.6
エネルギー起源	1,156.1		825.0	▲28.6	610.0	▲47.2
家庭部門	202.8		103.0	▲49.2	75.6	▲62.7
業務部門	262.6		153.7	▲41.5	118.0	▲55.1
産業部門	428.4		325.7	▲24.0	249.5	▲41.8
運輸部門	262.4		242.7	▲7.5	167.7	▲36.1
非エネルギー起源	16.9		16.1	▲4.6	16.1	▲4.6
一般廃棄物	16.9		16.1	▲4.6	16.1	▲4.6
メタン	8.3		7.8	▲7.0	7.0	▲16.0
一酸化二窒素	18.1		16.3	▲9.7	13.7	▲24.0
合計	1,199.4		855.2	▲27.9	647.7	▲46.0

環境保全活動に積極的に参加しよう！

- 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 環境に配慮した服を選ぶ
- 樹林やごみ拾い等の活動